

山陰近畿自動車道（佐津～府県境）懇談会（第 2 回）

日 時：平成29年5月24日（水）13:30～

場 所：豊岡総合庁舎401号室

次 第

- 1 開 会
- 2 懇談会の検討の流れについて
- 3 地域の意見聴取（第 1 回）結果について
- 4 政策目標の設定及び比較ルート帯（案）について
- 5 地域の意見聴取（第 2 回）方法について
- 6 閉 会

資料 1 懇談会規約（一部変更）

資料 2 （第 2 回）説明資料

規約・委員名簿の一部変更

山陰近畿自動車道（佐津～府県境）懇談会規約

（名称）

第1条

本会は山陰近畿自動車道（佐津～府県境）懇談会（以下、「懇談会」）と称する。

（目的）

第2条

学識経験者、住民代表、民間団体、行政機関が一体となり、山陰近畿自動車道 佐津～府県境間のルート帯(案)について、意見交換しながらとりまとめる。

（懇談会）

第3条

1. 懇談会の構成は、別表のとおりとする。
2. 委員は、事業予定者である兵庫県が委嘱する。

（会長）

第4条

1. 懇談会に会長を置く。
2. 会長は、委員の互選によって定める。
3. 会長は懇談会を代表し、会務を総括する。
4. 会長は、必要に応じ、懇談会を招集する。
5. 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（守秘義務）

第5条

委員は、個人を識別したり、個人の権利利益を害したりする恐れのある情報などを漏らしてはならない、またその職を退いた後も同様とする。

（懇談会の公開）

第6条

懇談会は原則公開とし、配付資料及び開催結果は県ホームページに掲載する。

（謝金）

第7条

委員（県から給与等が支給されている学識経験者委員及び行政委員を除く。）が会議その他の懇談会の職務に従事したときは、別に定めるところにより、謝金を支給する。

（旅費）

第8条

1. 委員（行政委員を除く）が懇談会の職務を行うために、会議に出席し、又は旅行したときは、旅費を支給する。
2. 前項の旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により支給する額に相当する額とする。ただし、県から給与等が支給されている学識経験者委員については、当該職員の職務の級に基づく額とする。

（事務局）

第9条

事務局は兵庫県県土整備部土木局道路街路課及び兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所に置く。

（委員の任期）

第10条

委員の任期は、懇談会の目的を完了するまでとする。

（その他）

第11条

本規約に定めのない事項については、必要に応じ協議する。

（付則）

1 この規約は平成28年12月20日から施行する。

2 平成29年5月24日 委員名簿の一部変更

別 表

山陰近畿自動車道（佐津～府県境）懇談会
委員名簿

(敬称略)

区分	氏 名	所属・役職等
学識経験者	宇田川 真之	人と防災未来センター 研究主幹
学識経験者	大迫 義人	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 准教授
学識経験者	柏木 千春	流通科学大学人間社会学部 教授
<u>会長</u>	西井 和夫	流通科学大学経済学部 教授
自治会	中嶋 洋二郎	豊岡区長協議会 会長
自治会	<u>岩本 安利</u>	城崎町内会 会長
自治会	木瀬 堯后	竹野区長協議会 会長
自治会	坂田 操	香美町香住区自治会 会長
商工会	卯野 隆也	豊岡商工会議所 副会頭
商工会	川崎 康司	豊岡市商工会城崎支部 支部長
商工会	川口 匡	豊岡市商工会竹野支部 支部長
商工会	中村 暁	香美町商工会 会長
観光協会	西松 伸二	豊岡観光協会 会長
観光協会	原 良式	城崎温泉観光協会 会長
観光協会	青山 治重	たけの観光協会 会長
観光協会	藤原 進之助	香美町香住観光協会 会長
行政	<u>増田 安弘</u>	国土交通省豊岡河川国道事務所 所長
行政	<u>嶋田 博文</u>	兵庫県県土整備部土木局道路企画課 課長
行政	松田 智	兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所 所長
行政	井上 良一	豊岡市都市整備部 部長
行政	<u>吉田 英貴</u>	香美町建設課 課長

[事務局：県土整備部土木局道路街路課・但馬県民局豊岡土木事務所]

山陰近畿自動車道(佐津～府県境)懇談会 説明資料(第2回)

平成29年5月24日

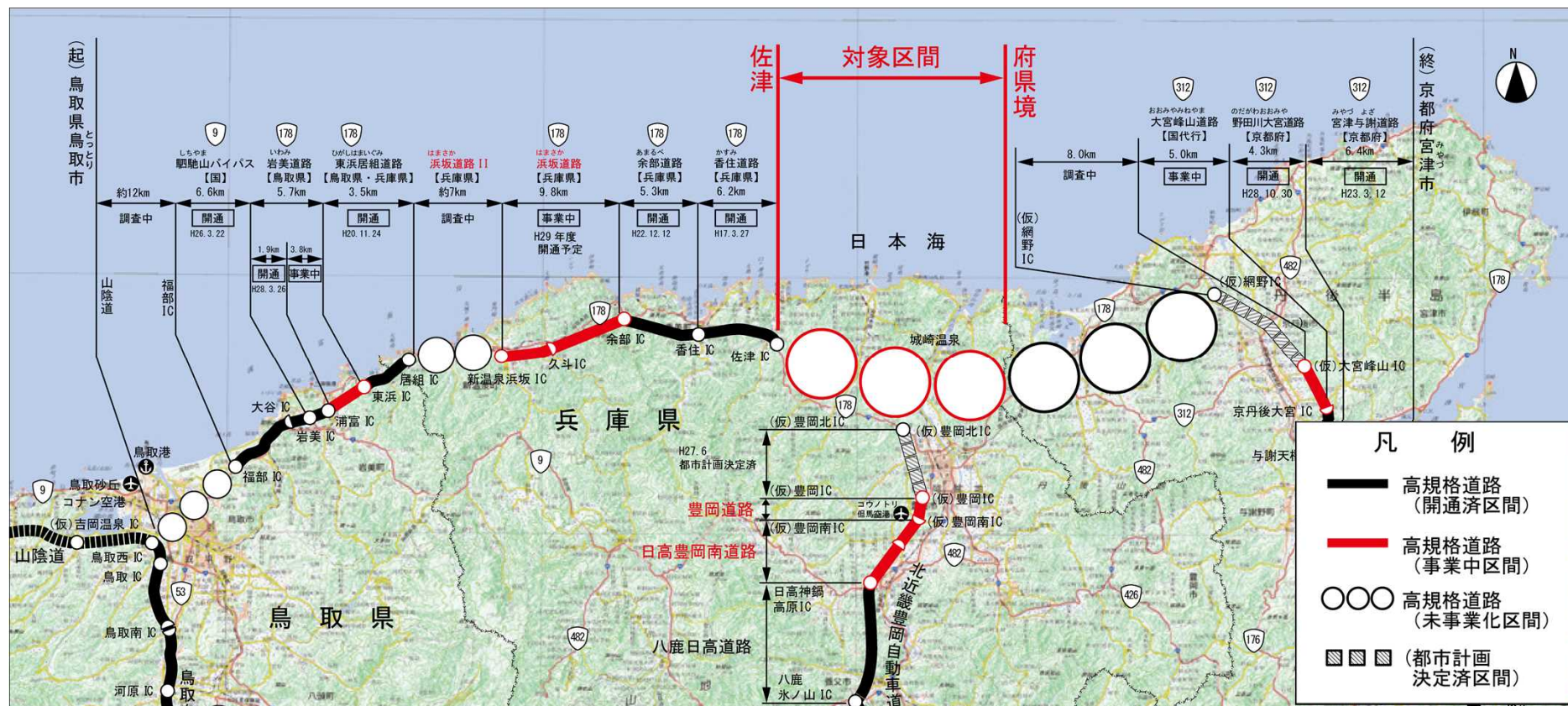
兵庫県 県土整備部

1. 懇談会の検討の流れについて	・ ・ ・	2
2. 地域の意見聴取（第1回）の結果	・ ・ ・	7
3. 課題を踏まえた政策目標の設定	・ ・ ・	19
4. 比較ルート帯案（複数案）の検討	・ ・ ・	21
5. 地域の意見聴取（第2回）方法	・ ・ ・	35

1. 懇談会の検討の流れについて

■ 目的

- ・ 山陰近畿自動車道は、鳥取東部、但馬、京都北部の各地方生活圏を連絡するとともに、日本海国土軸の一部として、広域的なネットワークを形成し、地域の交流・連携の促進と安全・安心の向上に寄与する重要な道路。
- ・ 山陰近畿自動車道（佐津～府県境）間のルート帯案について学識経験者、住民代表、民間団体、行政機関が一体となり、本懇談会で意見交換しながらとりまとめる。



■スケジュール

【平成28年12月20日】

第1回懇談会 ■懇談会の進め方、スケジュール（案）
■地域、道路・交通の状況と課題
■地域の意見聴取方法

地域の意見聴取（第1回）
○地域、道路・交通の課題
◆対象者・・・地域住民、道路利用者、事業所等

【平成29年5月24日】

第2回懇談会 ■課題を踏まえた政策目標の設定
■比較ルート帯案（複数案）の検討
■地域の意見聴取方法

地域の意見聴取（第2回）
○政策目標・比較ルート帯案（複数案）に対する意見
◆対象者・・・地域住民、道路利用者、事業所等

第3回懇談会 ■政策目標達成に最も相応しい対応方針（ルート帯案）
のとりまとめ

■ 山陰近畿自動車道（佐津～府県境）懇談会（第1回）の概要

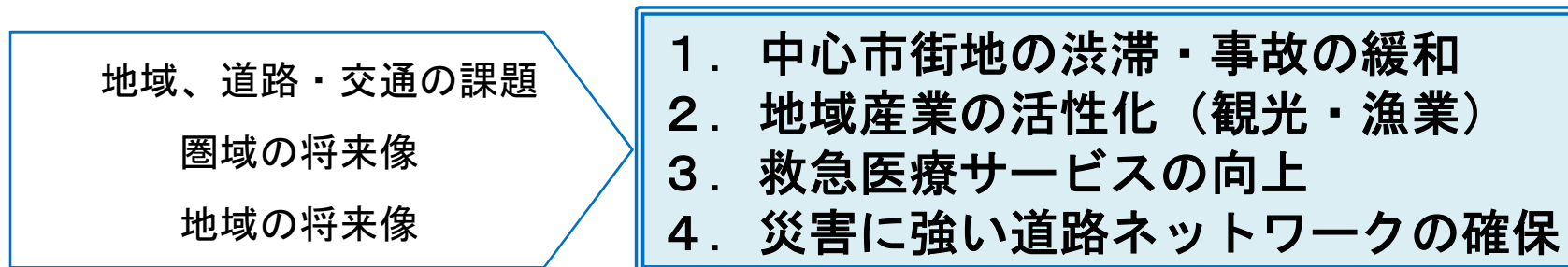
実施日：平成28年12月20日（火） 開催

主な議事：

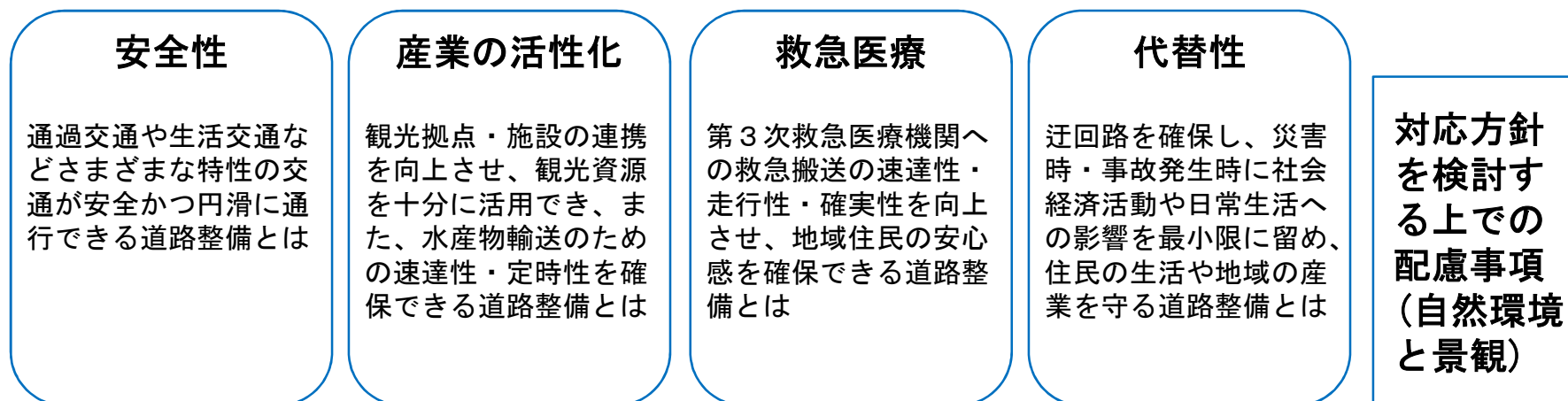
- ①地域の状況と課題
- ②道路・交通の状況と課題
- ③地域に配慮すべき事項
- ④意見聴取方法

指摘事項		対応状況
観光 ・ 漁業	高速道路の整備が観光に与える影響（通過点となることが懸念されるなど）も踏まえながら、高速道路周辺の道路整備など、高速道路と地域に点在する観光地の有機的な連携に関する議論が必要。	高速道路周辺の道路整備を含め、観光面等地域にとって最も望ましいルート帯案等を選定していく。
防災	緊急輸送を担う国道178号の代替路の確保や広域防災拠点と物資集積拠点のアクセス性の向上が必要。	今回頂いた意見や、地域の意見聴取結果を踏まえ、政策目標を設定する。
	来訪者にとって安全安心な観光地であることが重要。	
	浸水、津波被害による城崎地区の孤立を防ぐために、城崎地区に近い位置に東西を結ぶ災害に強い道路が必要。	
救急医療	高齢者の増加を考えると、香住方面から1、2分でも早く豊岡病院に搬送できることが必要。	
環境	コウノトリに対する配慮としては、ルート帯は極力分布域を避けることが望ましい。	ルート帯案選定において配慮する。
その他	環境衛生面でもクリーンパークへのアクセス性が向上する効果がある。	ルート帯案選定の際の参考とする。

- ・ 地域、道路・交通の課題、沿線自治体の総合計画を踏まえ、政策目標の素案を検討。



◆ 対応方針の検討



当該地域の山陰近畿自動車道の整備方針を検討
(複数の対応方針(ルート帯案)を設定し検討)

2. 地域の意見聴取（第1回）の結果

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果

意見聴取の対象者と回収率

- 地域住民では、旧竹野町、香住区の回収率が相対的に高かった。
- 企業等では、城崎、竹野、香美町の回収率が高かった。



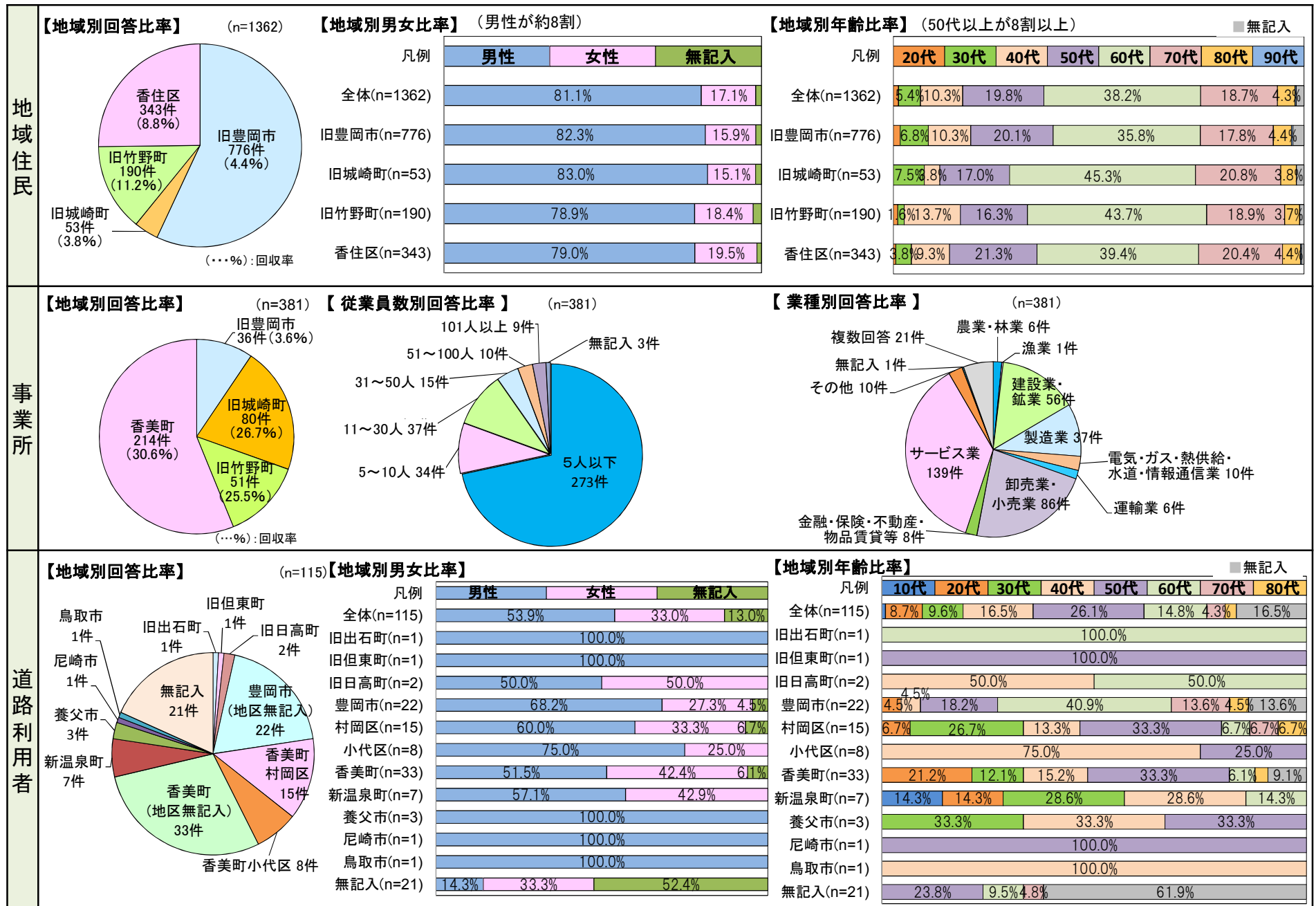
対象者・実施方法		配布数	回収件数	回収率
アンケート	【地域住民】豊岡市のうち、旧豊岡市、旧城崎町、旧竹野町及び香美町のうち香住区の住民に郵送配布・郵送回収（実施期間：平成29年1月25日（水）～2月28日（火））	24,700部	1362件	5.5%
	豊岡市のうち、旧豊岡市(17,655世帯)	17,700部	776件	4.4%
	旧城崎町(1,389世帯)	1,400部	53件	3.8%
	旧竹野町(1,632世帯)	1,700部	190件	11.2%
	香美町のうち、香住区(3,922世帯)	3,900部	343件	8.8%
	【企業等】豊岡商工会議所、豊岡市商工会城崎支部・竹野支部、香美町商工会の加盟事業所に郵送配布・郵送回収(実施期間：平成29年1月25日（水）～2月28日（火）)	2,200部	381件	17.3%
	豊岡商工会議所(1,000社)	1,000部	36件	3.6%
	豊岡市商工会城崎支部(300社)	300部	80件	26.7%
豊岡市商工会竹野支部(200社)	200部	51件	25.5%	
香美町商工会(香美町内の700社)	700部	214件	30.6%	
【道路利用者等】但馬地域の道の駅及び観光施設等に常設（実施期間：平成29年1月25日（水）～2月28日（火））	366部	115件	31.4%	
ヒアリング	【関係自治体及び団体等】関係自治体・関係団体・道路利用者等へ意見照会			
	自治体：京都府、京丹後市、新温泉町、朝来市、養父市		6件	
	各団体：警察署、消防署、病院、バス会社、旅行会社、トラック協会等		16件	
道路利用者等：道の駅・観光地等でヒアリング		95件		

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<意見聴取の概要>

アンケート調査目的を踏まえて、アンケート調査項目を設定。

解決すべき課題の把握・原因分析			調査項目(政策目標の明確化)	
課題	原因	政策目標の検討	第1回アンケート質問1 (道路事情について)	第1回アンケート質問2 (地域の課題について)
交通	豊岡市の中心市街地に自動車交通が集中し、店舗や病院などの生活サービス施設へのアクセスを阻害。	中心市街地に自動車 が集中している。	中心市街地の 渋滞・事故の 緩和	①豊岡市街地での交通集中により、渋滞や事故が発生し、移動時間の定時性や日常生活の安全・安心の確保に課題がある。
観光	城崎温泉や余部鉄橋をはじめとする観光施設は、高規格道路が未整備のため、山陰近畿道沿線及び京阪神地域からのアクセスに時間を要し、速達性・定時性に課題。	観光地・漁港と既存の高速道路にまでの距離が遠く、速達性・定時性が確保されていない。	地域産業の 活性化 (観光・漁業)	②城崎温泉などの観光地へのアクセスが悪く、山陰海岸沿岸地域の観光周遊や、京阪神地域からの観光集客に課題がある。
漁業	検討対象区間にある港湾・漁港は、高規格道路が未整備のため、水産物の市場への出荷に時間を要し、速達性に課題。			③水産業などの主要産業における広域物流の効率化や円滑な輸送に課題がある。
救急医療	現況の公立豊岡病院(第3次救急医療機関)30分到達圏域人口は約8万人(地域内人口の約45%)であり、救急搬送の速達性・安全性の確保が課題。	対象地域と第3次救急医療機関を繋ぐ道路の速達性・安全性が確保されていない。	救急医療 サービスの向上	④公立豊岡病院など高度な医療が受けられる病院への救急搬送に時間を要している。
防災	複数の区間が異常気象時通行規制区間であり、自然災害により広域にわたって道路が被災し、通行止めが発生。	自然災害時の代替路(新たな道路ネットワーク)が確保されていない。	災害に強い道路 ネットワークの 確保	④災害時等に通行止めや通行規制が発生すると、大きな迂回を強いられる。 ⑤大地震や平成16年台風23号などの大規模災害時に、救命・救助、物資輸送などの緊急活動に支障がある。
その他の項目	対象地域は、コウノトリやクマタカなどの生息エリアが存在し、また円山川沿いの湿地帯は鳥獣保護区、ラムサール条約湿地に指定されており、自然環境と景観への配慮が必要。	-	-	⑥コウノトリなど貴重な動植物との共生に配慮すべきである。

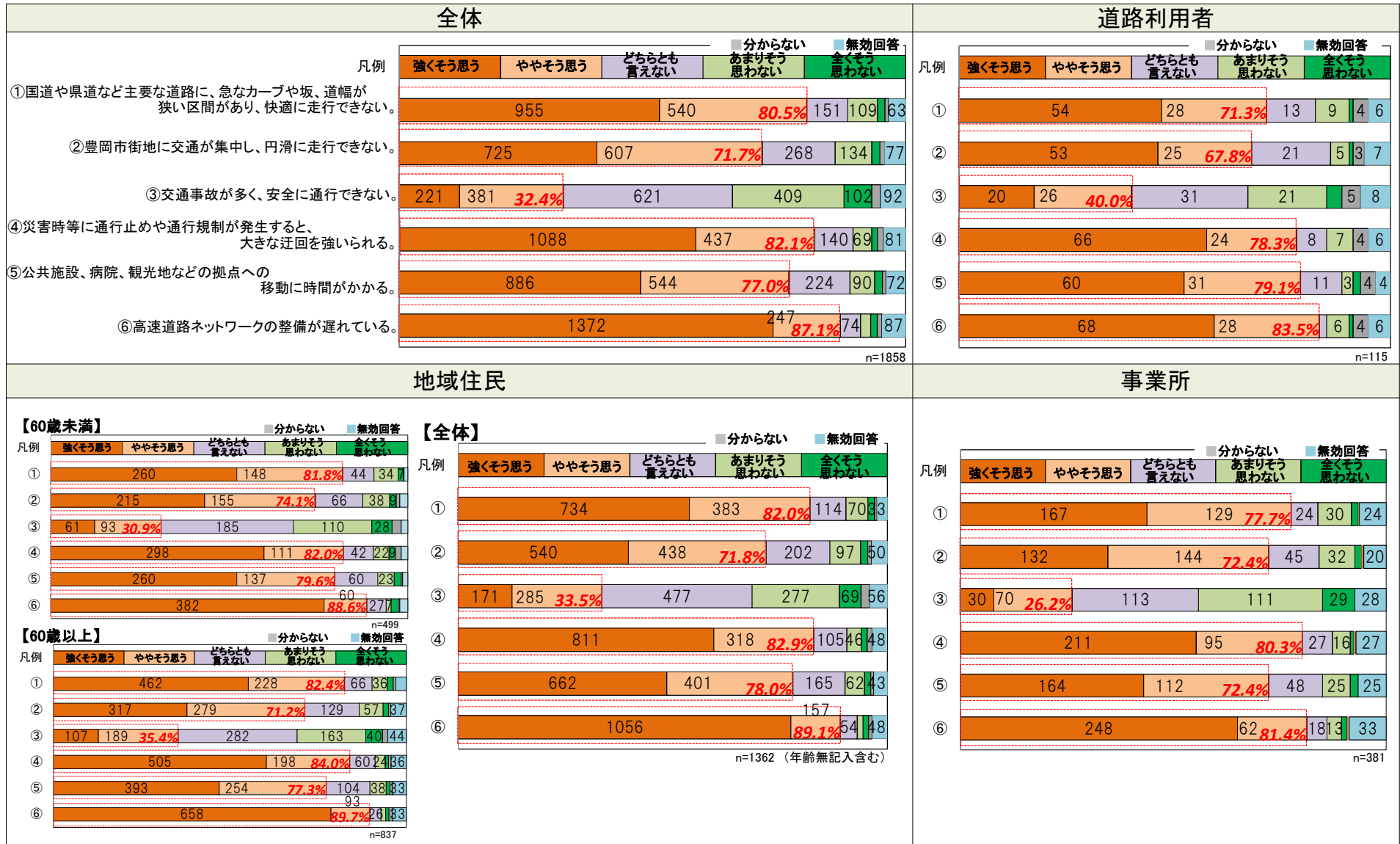
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査 回答者属性>



2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査概要>

道路事情について

- 回答者の8割以上が、「⑥高速道路ネットワークの整備が遅れている。」「④災害時等の通行止め・通行規制により大きな迂回を強いられる。」「①主要な道路で快適に走行できない。」と感じている。

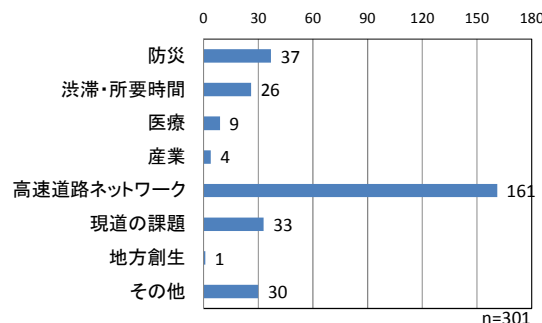


2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査概要>

12

道路事情について(自由意見)

- 高速道路ネットワークに関する意見が多く寄せられた。
- 幅員狭小や渋滞など、現道に対する具体的な課題が寄せられた。

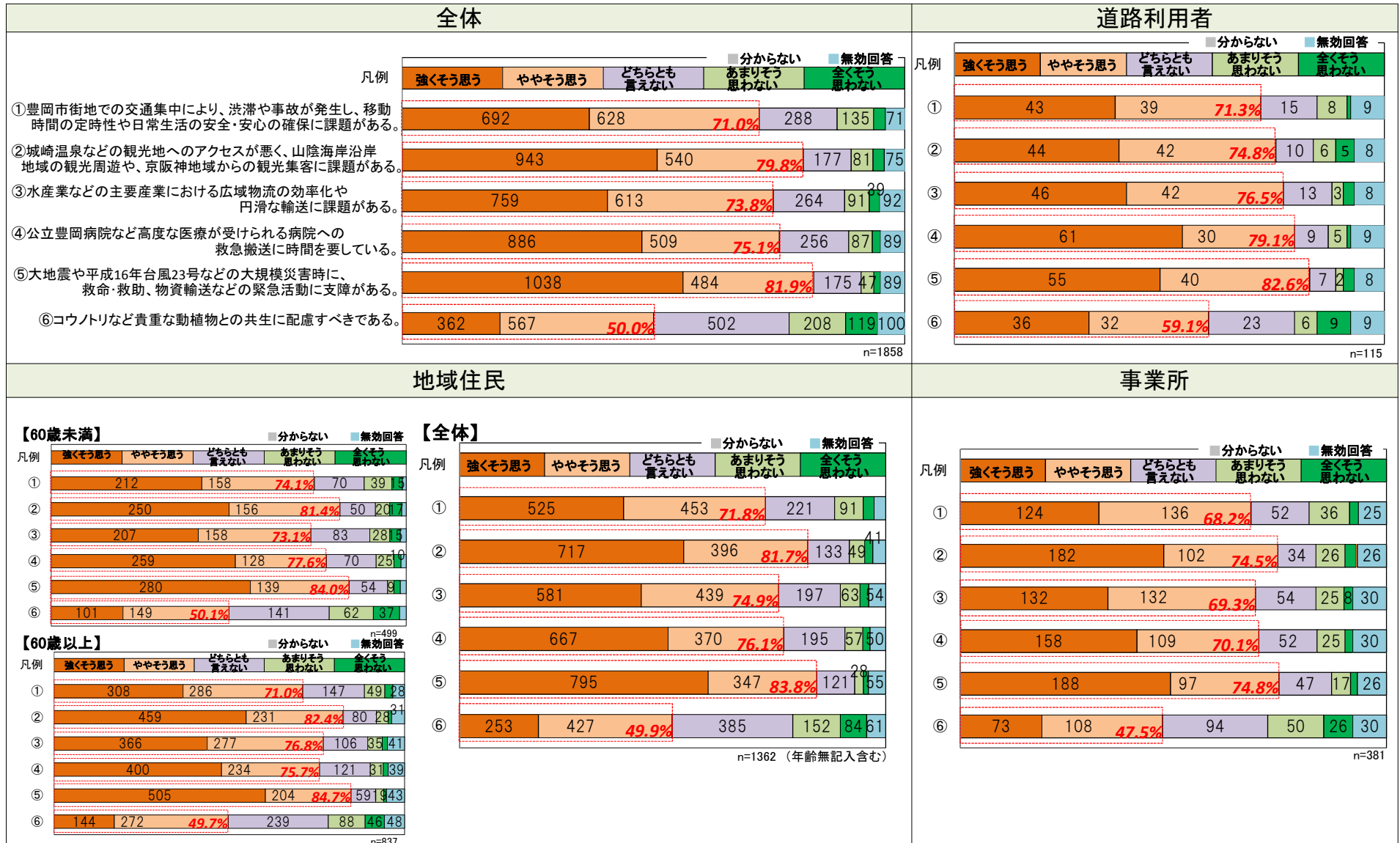


意見分類	主な意見	(総数301件)
防災	<ul style="list-style-type: none"> • 冬季積雪による交通渋滞が頻繁に発生している。(住民、60代・男性) • 県道豊岡瀬戸線、国道178号ともに水害時の冠水箇所が多く、命の危険を感じることもある。(事業所) 	
渋滞・所要時間	<ul style="list-style-type: none"> • 通勤時間帯の渋滞を何とかしてほしい。(住民、60代・女性) • 盆・正月・ゴールデンウィーク等に城崎・日和山が大渋滞する。(住民、60代・男性) 	
医療 (含む救急搬送)	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急時の病院搬送に時間がかかる。(住民、40代・女性) 	
産業 (観光・水産など)	<ul style="list-style-type: none"> • 観光地へのアクセスが悪く、観光集客が低いと思う。(住民、40代・男性) • 経済活動(水産業)の物流をよくして欲しい。(事業所) 	
高速道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 高速道路が未整備のため行動範囲が狭く経済活動も支障が多い。まるで陸の孤島化している。(住民、60代・男性) • 京阪神方面に行くのに非常に不便と感じている。(住民、70代・男性) 	
現道の課題	<ul style="list-style-type: none"> • 竹野海岸や城崎などへのアクセス道路の幅員が狭く不便に感じている。(住民、30代・男性) • 佐津～豊岡間には、迂回道が無いに等しい(特に冬期)。(住民、60代・男性) 	

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査概要>

地域の課題について

- 全ての課題に対し、回答者の5割以上が課題認識している。特に「②観光集客」「⑤災害時の緊急活動」に対する意見が多い。
- 「⑥コウノトリなど貴重な動植物との共生への配慮」では、道路利用者の課題認識が強い。

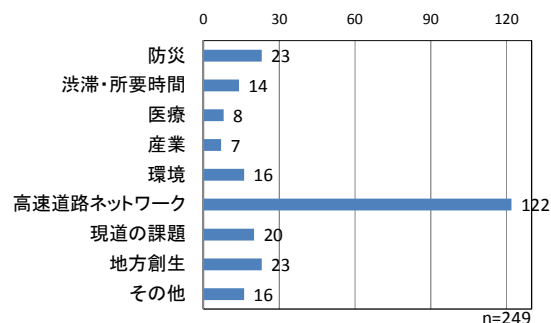


2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査概要>

14

地域の課題について(自由意見)

- 高速道路ネットワークに関する意見が多く寄せられた。
- 早期整備を望む意見や、地方創生への期待に関する意見が寄せられた。



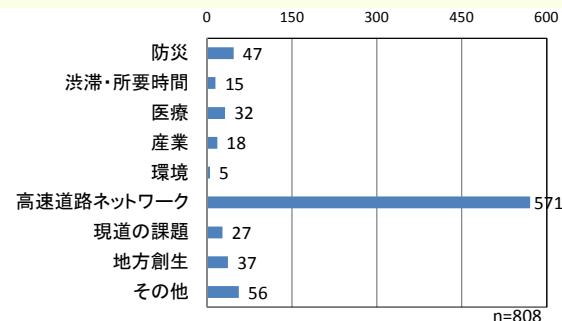
意見分類	主な意見	(総数249件)
防災	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急時・災害時の交通の整備は急務である。(住民、40代・男性) 	
渋滞・所要時間	<ul style="list-style-type: none"> • 移動に時間がかかりすぎ、目的地までの時間が短縮されるとうれしい。(事業所) 	
医療 (含む救急搬送)	<ul style="list-style-type: none"> • 救急救命率の向上に寄与する道路であり、早期整備が必要である。(住民、30代・女性) • ドクターヘリの活用で、ある程度の問題は解消されていると思う。(住民、40代・男性) 	
産業 (観光・水産など)	<ul style="list-style-type: none"> • 城崎への観光は高速道路が必須だと思う。(住民、60代・男性) 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> • コウノトリとの共生は大切なことであるが、広範囲なエリアで対応すべき課題と考える。(道路利用者) • 自然との共存を重視すべきだと思う。(住民、60代・男性) 	
高速道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 車社会の現在、阪神地区と日本海側を結ぶ道路網を早急に実現してほしい。山陰(鳥取県、島根県の主要な市)と山陽側のアクセスは地域発展に欠かせないと思う。(住民、70代・男性) • 交通の良し悪しは企業にとって経営に大きな影響を与える。(事業所) • 新しい道を作るのは税金の無駄使い。今の道を手直し拡幅すれば良い。(住民、90代・男性) • 高速道路と観光地間のアクセスが悪いと素通りされる恐れ有り、考慮すべきである。(住民、50代・男性) • 便利にはなっていないが、北に寄りすぎず豊岡全体に便利な下鶴井が良い。(住民、40代・女性) 	
地方創生	<ul style="list-style-type: none"> • 高規格道路を整備するのは良いが、IC間の観光地や店が廃れない方策が必要。(住民、30代・男性) • 道路の開通は、地域の経済活性化や雇用促進による過疎化対策になると思う。(住民、70代・男性) 	

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<アンケート調査概要>

15

高速道路整備の必要性や今後の方向性などに対する自由意見

- 災害時の緊急活動、救急搬送、観光振興等に関する意見が寄せられた。



意見分類	主な意見	(総数808件)
防災	<ul style="list-style-type: none"> 緊急を要する大規模災害時に、多方面からの支援をスムーズに行うために必要である。(住民、60代・男性) 事故、水害時のう回路としても使えるようなルートにしてほしい。(事業所) 	
渋滞・所要時間	<ul style="list-style-type: none"> 京阪神への時間の短縮を望む。(住民、30代・男性) 	
医療(含む救急搬送)	<ul style="list-style-type: none"> 子供、妊婦、高齢者のためにも香住から豊岡病院まで1分でも早く行けるルートを希望する。(事業所) 	
産業(観光・水産など)	<ul style="list-style-type: none"> 水産加工品等を最速で京阪神へ輸送できるルート整備としてほしい。(住民、50代・男性) 観光発展のため、山陰海岸ジオパークである鳥取～兵庫～京都の移動をスムーズにしてほしい。(事業所) 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> 交通至便と景観(自然環境)破壊のバランスをしっかりと配慮すべき。(住民、50代・男性) 	
高速道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 当地方は農水産物、温泉、名所等に恵まれた地域にもかかわらず高速(専用)道路がないため、これらの資源が生かされない。そのため一日も早い山陰近畿自動車道の開通が必要です。(住民、60代・男性) 早急な開通を強く希望する。豊岡が日本で一番、高速交通網が遅れている。(住民、60代・男性) もちろん繋がっている方が便利ではあるが、莫大な費用をかけてまで需要があるのだろうか。(住民、30代・女性) 道路建設は自然破壊につながる。自然との共生に矛盾していると思う。(住民、40代・女性) 高速ネットワークも必要だが、それとつながる一般道路の整備が大事だ。地域間のアクセスが悪く、町村合併の実感が未だに無い。(住民、60代・男性) 救急医療、ごみ処理場、但馬空港など主要な施設、機関にネットワークが整備されなければいけないと思う。(住民、60代・男性) 城崎への観光客が多く、城崎に近い道路ができると便利だと思う。香住、観光に来るお客様も増えることが期待できると思う。(事業所) 	
地方創生	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路の整備の必要性は強く感じるが、但馬地域が通過点とならぬよう地域経済浮揚策も同時に必要では。(住民、60代・男性) 道路整備が遅いために物流が悪く、企業の活動に悪影響があり、結果、地方の雇用状況も悪くなっていると思う。(事業所) 地域にマッチした観光の発展性があるかどうか見極める必要がある。(事業所) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 通行料金無料化を望む。(住民、70代・男性) 有料にして、後の世代に負担押し付けが少しでも少なくなるようにすべき。(住民、60代・男性) 	

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<関係自治体・団体等ヒアリング調査概要> 16

- 整備による効果・期待などの意見が多く寄せられた。

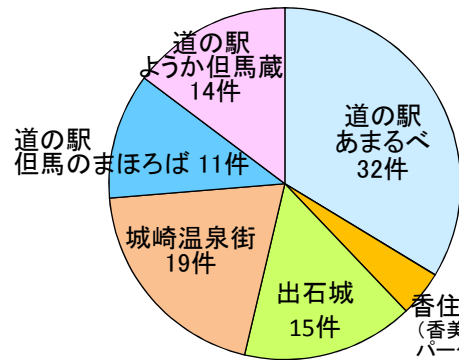
意見分類	主な意見
防災	<ul style="list-style-type: none"> 特に但馬地域においては、台風による大規模災害が多く発生している状況から、速やかな救命・救助・物資輸送等が可能な道路網の整備が必要と考える。(自治体) 広域的な災害対応時には、隣接の消防機関と迅速な相互応援活動が可能となり、高速道路の整備は大いに期待ができる。(消防署)
渋滞・所要時間	<ul style="list-style-type: none"> 高速性、定時性が確保されていない。(バス会社) 救急搬送をするときはサイレンを鳴らすため、比較的スムーズに行けるが、帰るときは鳴らすことが出来ない。しかし、救急車は台数が限られており、5分でも10分でも早く戻りたい。(消防署)
医療 (含む救急搬送)	<ul style="list-style-type: none"> 城崎及び竹野地域は、幅員及び距離の関係から病院への搬送に時間を要している。(消防署)
産業 (観光・水産など)	<ul style="list-style-type: none"> 但馬地域が誇る水産物においては、鮮度の良い状態での速やかな輸送が重要であることから、円滑な輸送に寄与できる道路網の整備が必要であると考え。(自治体) 但馬地域は観光施設が多いので、観光の潜在需要は多い。観光施設をフル活用できれば、バス事業者だけでなく、地域のためにも良いと思う。(バス会社) 行きも帰りも同じルートではお客さんが飽きてしまうので、道路ネットワークができれば周遊ルートが組めることも魅力である(行きは鳥取道、帰りは北近畿豊岡道など)。(旅行会社)
環境	<ul style="list-style-type: none"> ルート帯の選定にあたっては、自然環境の配慮も必要である。(自治体)
高速道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化のためには、高規格道路の整備が不可欠。輸送時間の短縮、積載効率の向上、ドライバーの疲労減、事故リスク減、沿道環境の改善など、メリットは多数ある。(トラック協会) 瀬戸内と日本海側を繋ぐ南北軸道路ならびに兵庫南部の東西軸については整備が図られているが、北部における東西軸の道路整備が遅れていると考える。(自治体) 高速バス路線開設のポイントは、時間と料金。特に、定時性と速達性。利用者の不安を解消することは重要。(バス会社) 開通により早期医療介入することができ、さらなる救命率の向上はもとより、患者の社会復帰を助けることとなる。また、京都方面の早期着工、開通となれば、京丹後市においてもドクターカー出動エリアとなり得る。(病院) 整備ルートによっては、自然動植物への環境悪化、冬季除雪等にかかる自治体経費の増大等が危惧される。(自治体)
地方創生	<ul style="list-style-type: none"> 養父市では、平成24年の北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路開通のストック効果として、主要観光施設の総入込客数が増加し、観光産業に大きな恩恵をもたらした(平成23年129万人→平成27年153万人)。今後、北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の整備が進むことで、地域経済に好循環をもたらすストック効果が発現することが期待される。(自治体) 京都・鳥取間を結ぶ無料区間道路が完成することで、但馬地域と両府県の交流圏域が増加し、地域の活性化に寄与できるものと考える。(自治体) これからは1市だけが頑張っても厳しい。エリア全体で地域活性化を考えていかなければならない。北部(但馬・丹後)の結びつきは非常に重要である。(自治体)

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果<道路利用者ヒアリング調査概要>

17

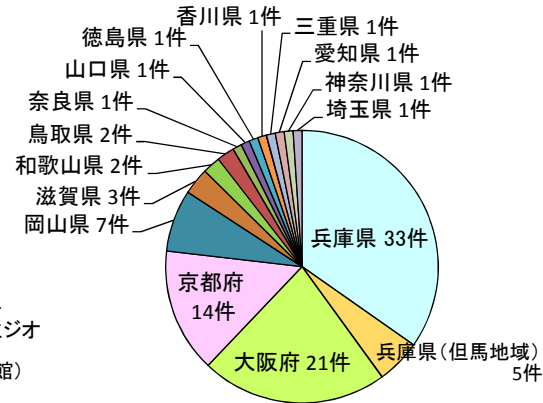
【ヒアリング場所】

(n=95)

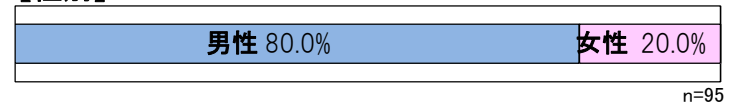


【居住地】

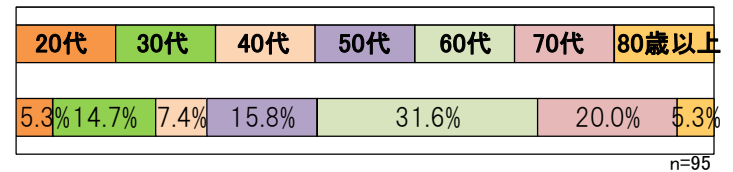
(n=95)



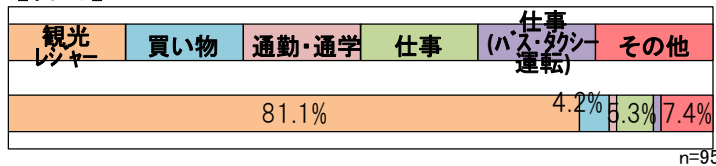
【性別】



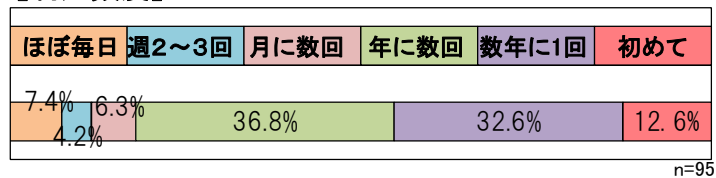
【年齢】



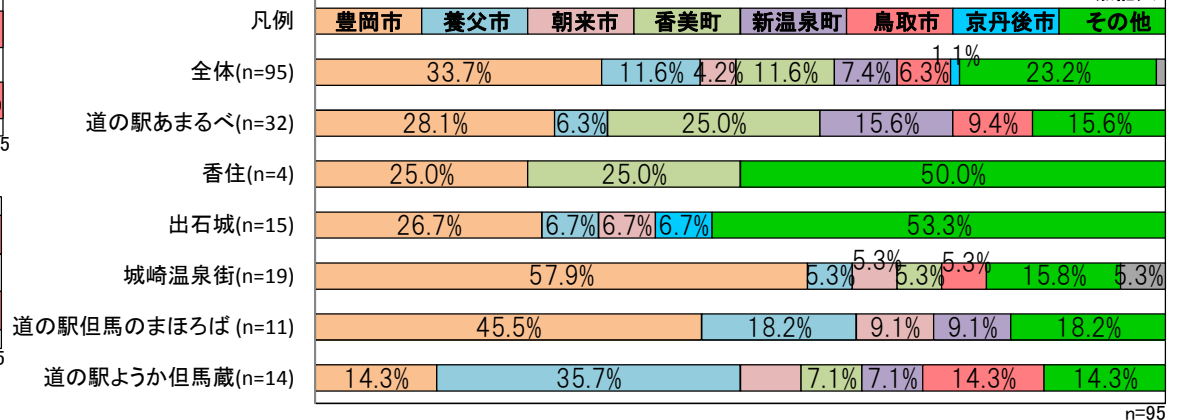
【目的】



【利用頻度】



【次の目的地】



意見分類	主な意見	(総数55件)
防災	<ul style="list-style-type: none"> 雪で通行できない。(70代・女性) 	
産業 (観光・水産など)	<ul style="list-style-type: none"> 高速がつながれば観光客が今以上増え、地域が盛り上がると思う。(50代・男性) 	
高速道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 北但・山陰が道路ネットワーク弱い(細切れ)ので観光に不便。整備するなら早くして欲しい。(40代・男性) 城崎までつながれば便利だと思ふ。(30代・男性) 不便は感じない。昔に比べて道路事情は良くなっている。(30代・男性) 豊岡はお気に入りの土地。高速道路で風景を変えてほしくない。(60代・男性) 	

道路事情について

【アンケート調査結果】

凡例	■ 分からない ■ 無効回答				
	強くそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①国道や県道など主要な道路に、急なカーブや坂、道幅が狭い区間があり、快適に走行できない。	955		540	80.5%	151 109 63
②豊岡市街地に交通が集中し、円滑に走行できない。	725		607	71.7%	268 134 77
③交通事故が多く、安全に通行できない。	221	381	32.4%	621	409 102 92
④災害時等に通行止めや通行規制が発生すると、大きな迂回を強いられる。	1088		437	82.1%	140 69 81
⑤公共施設、病院、観光地などの拠点への移動に時間がかかる。	886		544	77.0%	224 90 72
⑥高速道路ネットワークの整備が遅れている。	1372		247	87.1%	74 87

n=1858

全回答者の8割以上が、

- ①国道や県道など主要な道路に、急なカーブや坂、道幅が狭い区間があり、快適に走行できない。
- ④災害時等に通行止めや通行規制が発生すると、大きな迂回を強いられる。
- ⑥高速道路ネットワークの整備が遅れている。

と回答している。

その他、②⑤についても、7割以上が課題認識している。

【自由意見】

- ・ 県道豊岡瀬戸線、国道178号ともに水害時の冠水箇所が多く、**命の危険を感じる**ことがある。(事業所)
- ・ 高速道路が未整備のため行動範囲が狭く**経済活動も支障が多い**。まるで陸の孤島化している。(住民)
- ・ **高速性、定時性が確保されていない**。(バス会社)
- ・ **物流効率化のためには、高規格道路の整備が不可欠**。輸送時間の短縮、積載効率の向上、ドライバーの疲労減、事故リスク減、沿道環境の改善など、メリットは多数ある。(トラック協会)

地域の課題について

【アンケート調査結果】

凡例	■ 分からない ■ 無効回答				
	強くそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①豊岡市街地での交通集中により、渋滞や事故が発生し、移動時間の定時性や日常生活の安全・安心の確保に課題がある。	692		628	71.0%	288 135 71
②城崎温泉などの観光地へのアクセスが悪く、山陰海岸沿岸地域の観光周遊や、京阪神地域からの観光集客に課題がある。	943		540	79.8%	177 81 75
③水産業などの主要産業における広域物流の効率化や円滑な輸送に課題がある。	759		613	73.8%	264 91 92
④公立豊岡病院など高度な医療が受けられる病院への救急搬送に時間を要している。	886		509	75.1%	256 87 89
⑤大地震や平成16年台風23号などの大規模災害時に、救命・救助、物資輸送などの緊急活動に支障がある。	1038		484	81.9%	175 47 89
⑥コウトリなど貴重な動植物との共生に配慮すべきである。	362	567	50.0%	502	208 119 100

n=1858

全回答者の約8割が、

- ②城崎温泉などの観光地へのアクセスが悪く、山陰海岸沿岸地域の観光周遊や、京阪神地域からの観光集客に課題がある。
- ⑤大地震や平成16年台風23号などの大規模災害時に、救命・救助、物資輸送などの緊急活動に支障がある。

と回答している。

その他、①③④についても、7割以上が課題認識している。

【自由意見】

- ・ 救急救命率の向上に寄与する道路であり**早期整備が必要**である。(住民)
- ・ 城崎への観光は**高速道路が必須**だと思う。(住民)
- ・ 但馬地域は観光施設が多いので、観光の潜在需要は多い。**観光施設をフル活用できれば**、バス事業者だけでなく、地域のためにも良いと思う。(バス会社)
- ・ 京都・鳥取間を結ぶ無料区間道路が完成することで、但馬地域と両府県との交流圏域が増加し、**地域の活性化に寄与**できるものとする。(自治体)

第1回懇談会で整理した「地域、道路・交通の課題」や「政策目標の素案」の検討項目の妥当性を確認。

3. 課題を踏まえた政策目標の設定

第1回意見聴取の結果に基づくまとめ

- 第1回懇談会で整理した「地域、道路・交通の課題」や「政策目標の素案」の検討項目の妥当性を確認。
- 地域の主要産業である観光や、災害時の迂回路・緊急輸送路の確保、救急搬送の速達性の観点から、早期整備が望まれている。
- 朝夕の慢性的な渋滞、異常天候時や災害時の不安に関する意見が多く、生活交通の円滑化、速達性、安定性を確保した道路が求められている。

上記の内容を踏まえ、山陰近畿自動車道
(佐津～府県境)間の政策目標として以下を設定

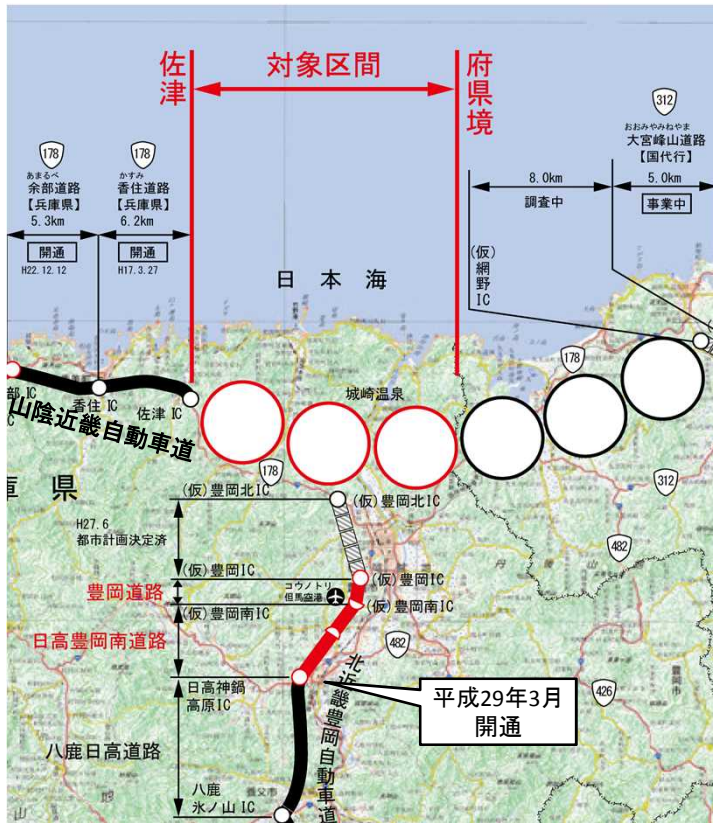
政策目標

1. 中心市街地の渋滞・事故の緩和
2. 地域産業の活性化（観光・漁業）
3. 救急医療サービスの向上
4. 災害に強い道路ネットワークの確保

4. 比較ルート帯案（複数案）の検討

■接続の必要性

- ・鳥取東部、但馬、京都北部は高速道路のミッシングリンクとなっている。
- ・北近畿豊岡自動車道は、平成29年3月に八鹿日高道路が開通。
- ・北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道を繋ぐルートを早期に整備し、高速道路ネットワークを構築することが必要。



【道路事情について】再掲

- 凡例
- ①国道や県道など主要な道路に、急なカーブや坂、道幅が狭い区間があり、快適に走行できない。
 - ②豊岡市街地に交通が集中し、円滑に走行できない。
 - ③交通事故が多く、安全に通行できない。
 - ④災害時等に通行止めや通行規制が発生すると、大きな迂回を強いられる。
 - ⑤公共施設、病院、観光地などの拠点への移動に時間がかかる。
 - ⑥高速道路ネットワークの整備が遅れている。

					■分からない	■無効回答	
強くそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
955			540	80.5%	151	109	63
725			607	71.7%	268	134	77
221	381	32.4%	621		409	102	92
1088			437	82.1%	140	69	81
886			544	77.0%	224	90	72
1372			247	87.1%	74		87

n=1858

【地域の課題について】再掲

- 凡例
- ①豊岡市街地での交通集中により、渋滞や事故が発生し、移動時間の定時性や日常生活の安全・安心の確保に課題がある。
 - ②城崎温泉などの観光地へのアクセスが悪く、山陰海岸沿岸地域の観光周遊や、京阪神地域からの観光集客に課題がある。
 - ③水産業などの主要産業における広域物流の効率化や円滑な輸送に課題がある。
 - ④公立豊岡病院など高度な医療が受けられる病院への救急搬送に時間を要している。
 - ⑤大地震や平成16年台風23号などの大規模災害時に、救命・救助、物資輸送などの緊急活動に支障がある。
 - ⑥コウノトリなど貴重な動植物との共生に配慮すべきである。

					■分からない	■無効回答	
強くそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
692			628	71.0%	288	135	71
943			540	79.8%	177	81	75
759			613	73.8%	264	91	92
886			509	75.1%	256	87	89
1038			484	81.9%	175	47	89
362	567	50.0%	502		208	119	100

n=1858

- ・以下の考え方に基づき、比較ルート帯(案)を検討。

STEP①

・山陰近畿自動車道と北近畿豊岡自動車道の接続が可能な位置(JCT)を選定

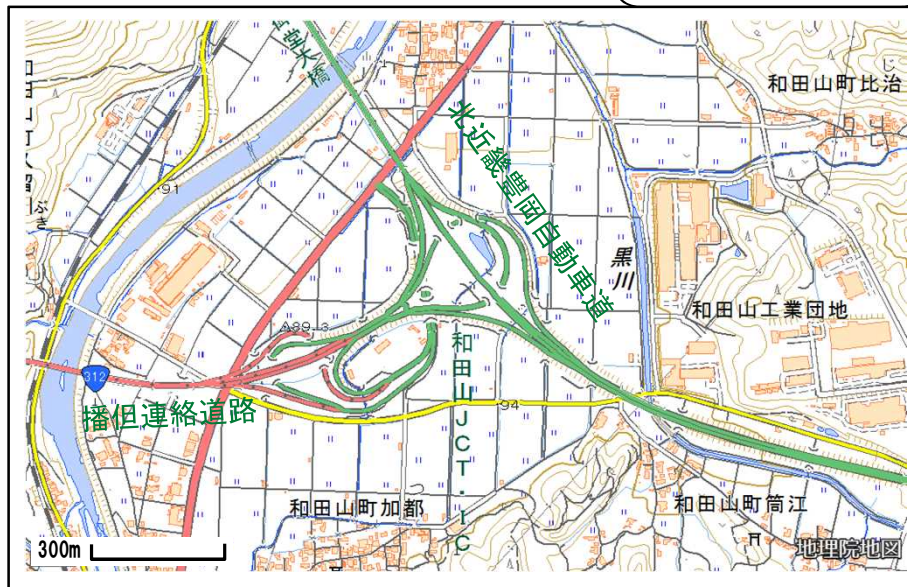
※ジャンクション(JCT)：高速道路と高速道路を繋ぐ箇所

・ジャンクション(JCT)設定位置は、約1km×約1km程度(事例から想定)の平地が適している。

◆ JCTの事例

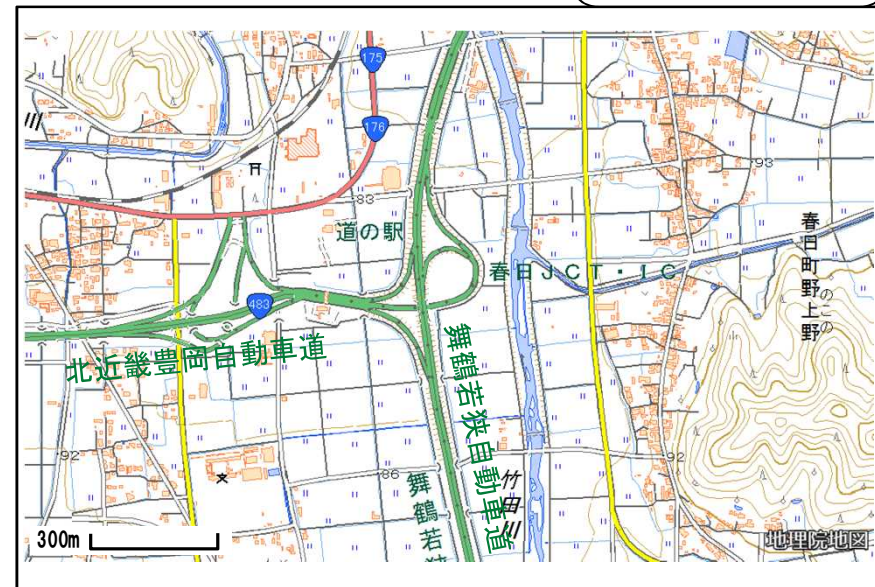
和田山JCT・IC

北近畿豊岡自動車道
+
播但連絡道路



春日JCT・IC

北近畿豊岡自動車道
+
舞鶴若狭自動車道



※この地図は、国土地理院の電子国土基本図に「縮尺」「道路名称」を追記して掲載。

- ・以下の考え方に基づき、比較ルート帯(案)を検討。

STEP②

- ・インターチェンジ(IC)候補地を選定

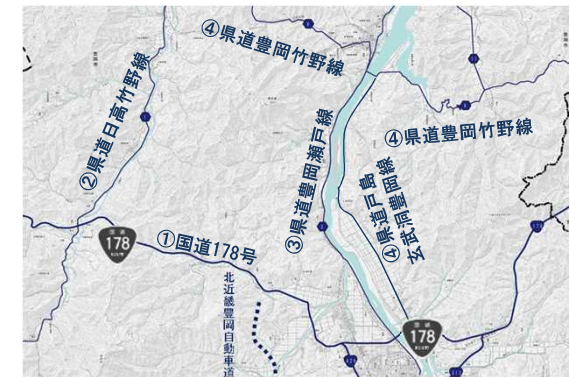
※インターチェンジ(IC): 高速道路と一般道を繋ぐ箇所

◆接続対象となる道路

- ① 国道178号
- ② 県道日高竹野線
- ③ 県道豊岡瀬戸線(円山川左岸の場合)
- ④ 県道豊岡竹野線又は県道戸島玄武洞豊岡線(円山川右岸の場合)

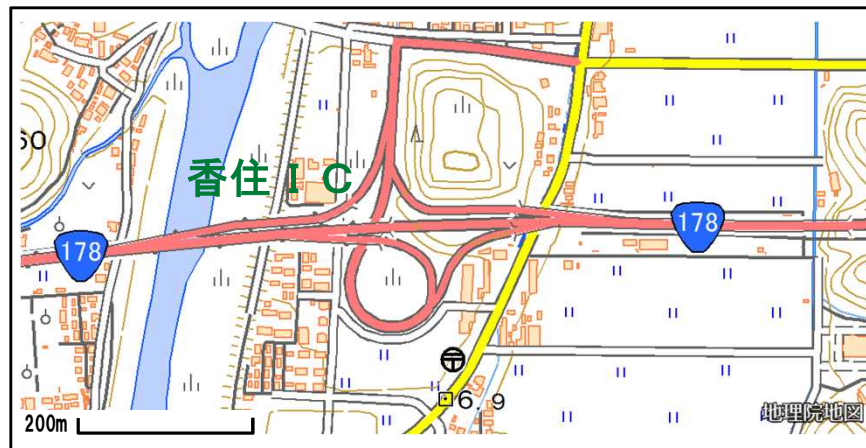
◆設置を検討する箇所

- ・上記道路周辺の地形、土地利用状況等(集落の有無等)により、設置可能な箇所を抽出する。

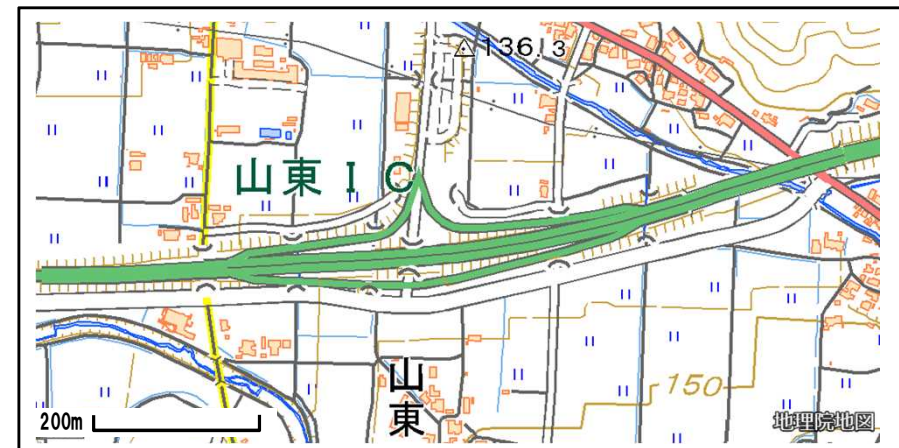


◆ ICの事例

香住IC (山陰近畿自動車道)



山東IC (北近畿豊岡自動車道)



※この地図は、国土地理院の電子国土基本図に「IC名」「縮尺」を追記して掲載。

- ・以下の考え方に基づき、比較ルート帯(案)を検討。

(配慮事項)

・コントロールポイントの抽出

コントロールポイントとは、
できる限り、道路の建設を避けるべき貴重な自然環境エリア、建物、文化財等

【主なコントロールポイントの項目】

項目	内容
A. 自然環境	貴重な動植物、採餌場、営巣地 等
B. 社会環境	学校、病院、住宅密集地 等
C. 文化財等	天然記念物、遺跡、文化財、社寺、仏閣、霊園 等
D. 公共施設等	空港、鉄道駅、浄水場、清掃センター 等
E. 防災関連	地すべり危険箇所、浸水想定区域 等

STEP①②

・JCT位置の選定
・IC候補地の選定

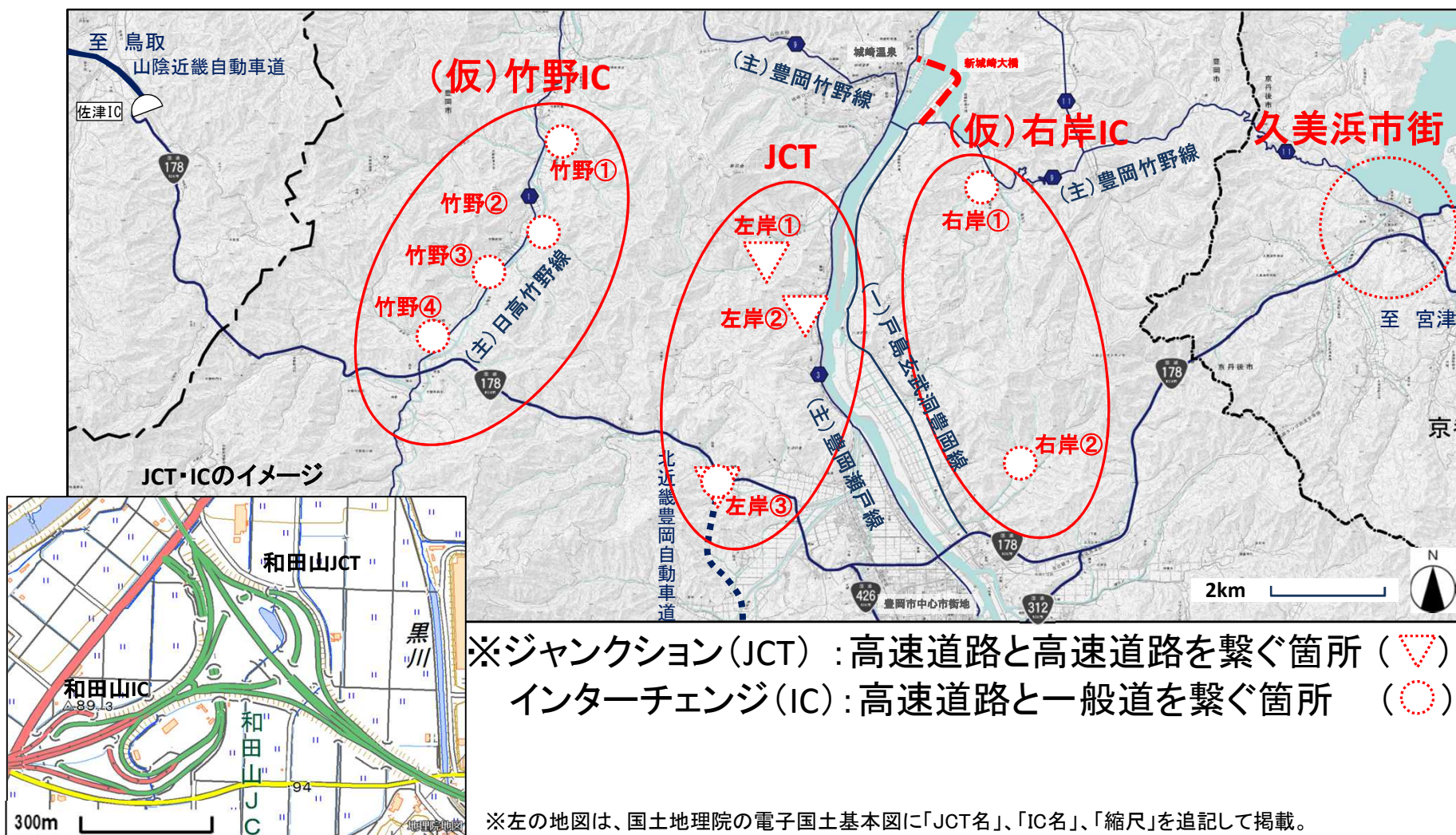
← (配慮事項)コントロールポイントの抽出

STEP③

・ルート帯(案)の抽出

4. JCT、IC候補地の選定

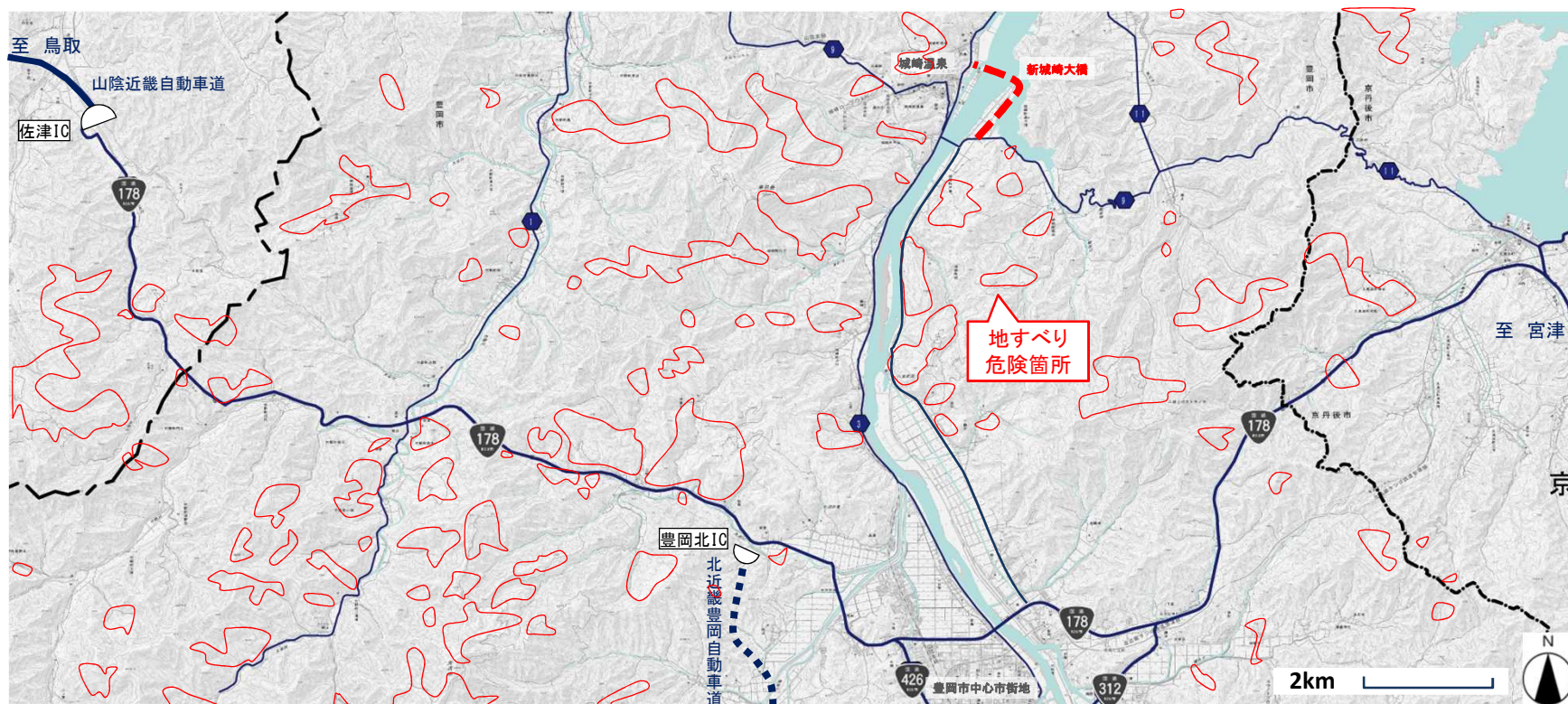
- ・ジャンクション（JCT）、インターチェンジ（IC）候補地は下記により選定した。
 - 市街地や周辺拠点へアクセスする主要道路が接続可能となる位置
 - 主なコントロールポイント（地すべり地形・集落など）を避けられる位置
 - 大規模な地形改変を極力避ける位置



4. (配慮事項)コントロールポイント 地すべり危険箇所の状況

27

- 対象地域には、地すべり危険箇所が多数分布。



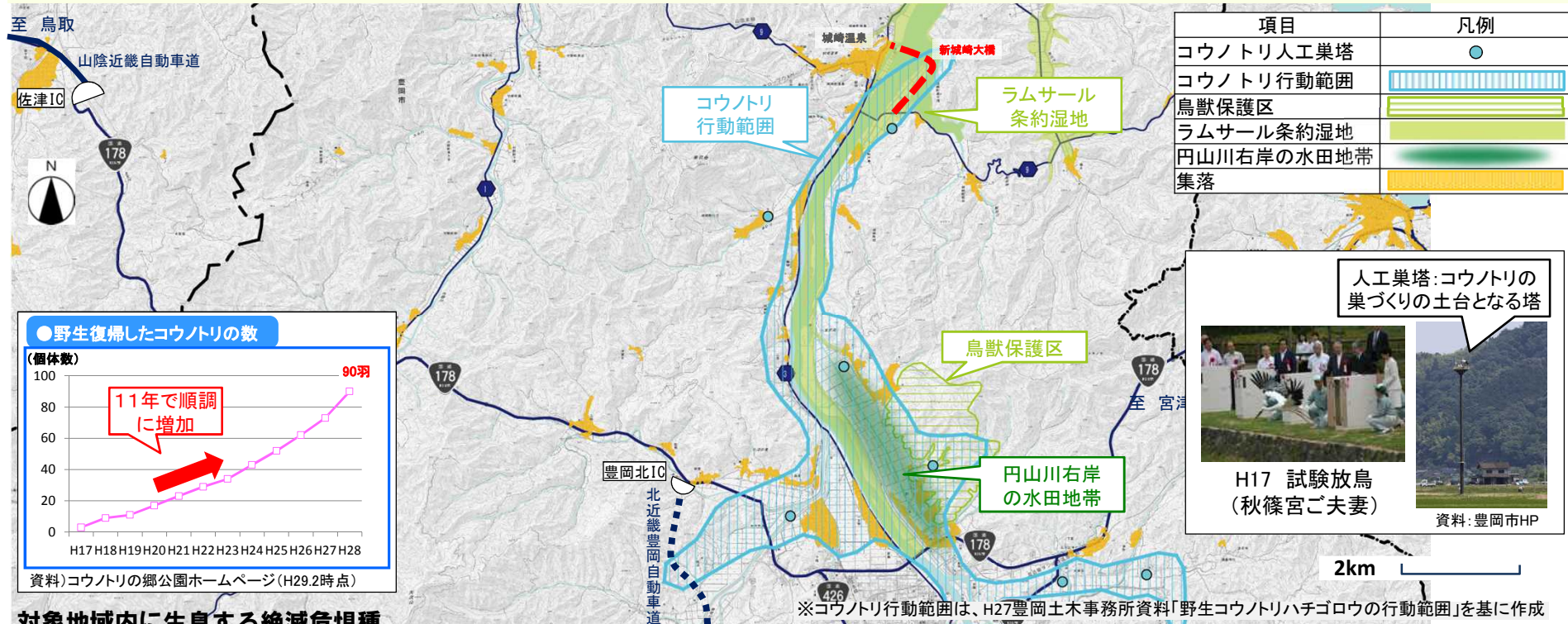
出典：地すべり地形分布図(防災科学技術研究所)、兵庫県HP

項目	凡例
地すべり危険箇所	

※トンネルで回避できる地すべり危険箇所は表示していない

◆自然環境と景観・集落への配慮

- ・対象地域は、絶滅危惧種に指定されているコウノトリなどの生息エリアが存在。円山川沿いの湿地帯は鳥獣保護区、ラムサール条約湿地に指定されている。特にコウノトリは、豊岡市が野生復帰を推進しており、**円山川右岸の水田地帯はコウノトリの重要な餌場**となるほど多様な生物が生息し、また、過去には周辺の山林にクマタカの生息も確認されていることから、具体のルート設定時は、これら**自然環境への配慮が必要**。
- ・対象地域内の**集落について、生活環境への影響を考慮し、具体のルート設定時にはできる限り回避**。
- ・また、対象地域内の豊かな自然と道路が調和するよう、景観にも配慮。

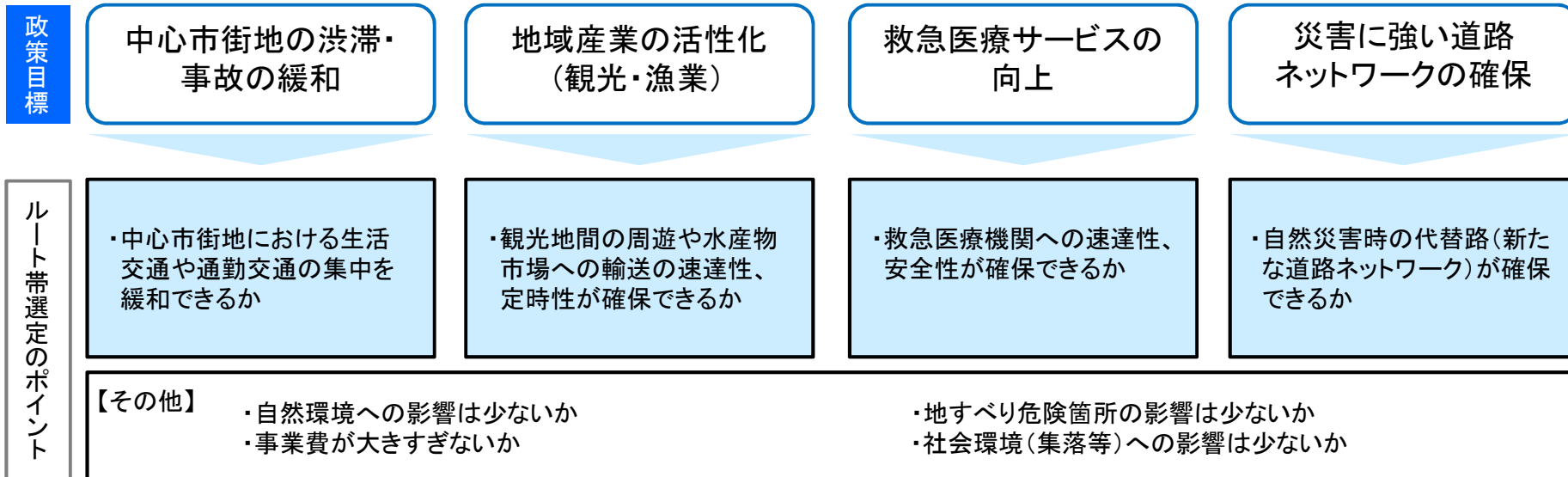


対象地域内に生息する絶滅危惧種

動物	コウノトリ	動物	クマタカ
	<p>兵庫県ランク:A 環境省ランク:CR(絶滅危惧IA類) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの</p>		<p>兵庫県ランク:A 環境省ランク:EN(絶滅危惧IB類) IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの</p>

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討 ルート帯案の考え方

- 第1回意見聴取の結果を踏まえ、政策目標を設定したことから、政策目標を達成する対応方針を検討する。



<<政策目標を達成する対応方針>>

【案1】

日本海国土軸として、佐津～久美浜を直線的に結び、城崎市街にアクセスしやすいルート
豊岡北と城崎市街の中間位置で、南北と東西の自動車専用道路が接続

【案2】

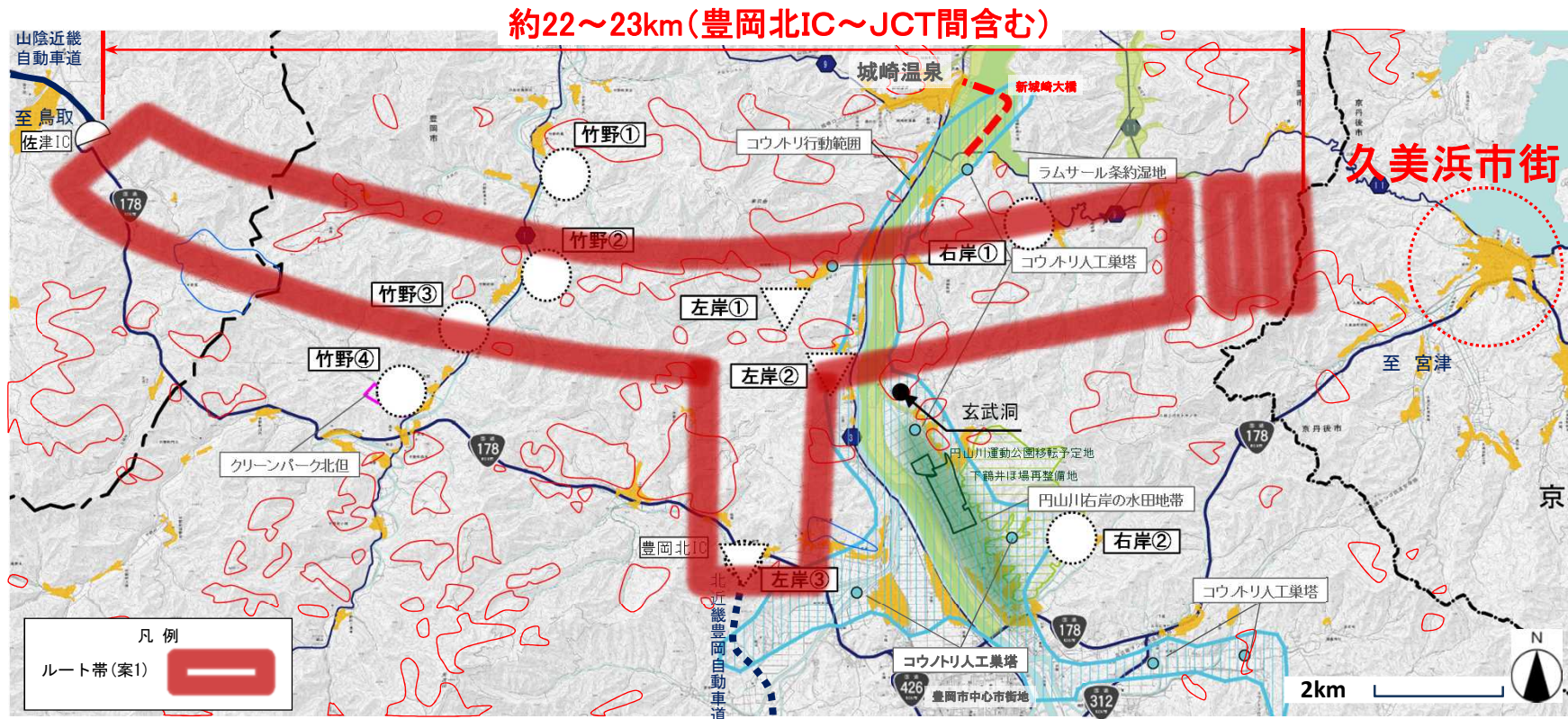
佐津～豊岡北～久美浜を結び、城崎市街にアクセスしやすいルート
豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続

【案3】

佐津～豊岡北～久美浜を結ぶルート
豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討【案1】

日本海国土軸として、佐津～久美浜を直線的に結び、城崎市街にアクセスしやすいルート
 豊岡北と城崎市街の中間位置で、南北と東西の自動車専用道路が接続



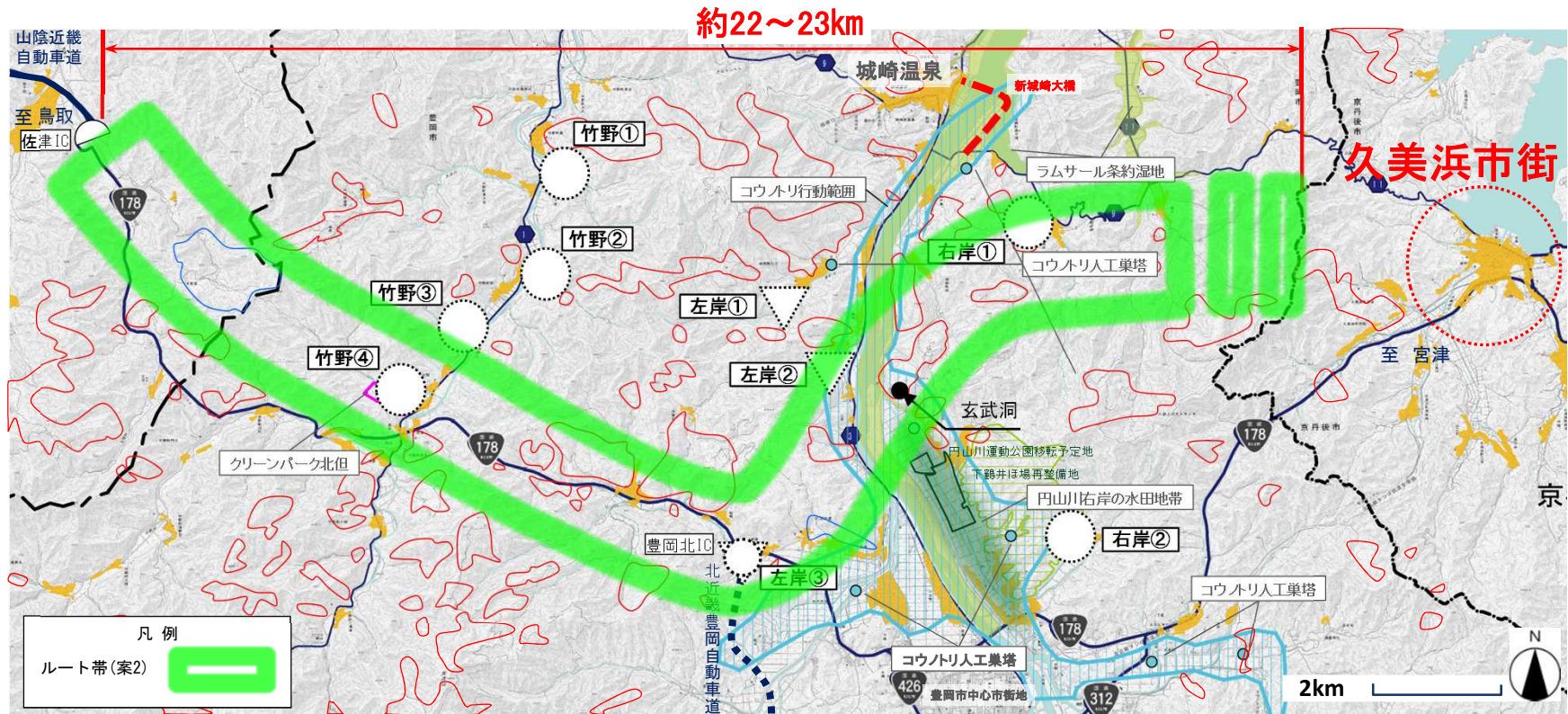
項目		凡例
自然環境	コウトリ人工巣塔	●
	コウトリ行動範囲	▨
	鳥獣保護区	▨
	ラムサール条約湿地	▨
	円山川右岸の水田地帯	▨

項目		凡例
生活環境	集落	▨
公共施設	クリーンパーク北但	▨
防災関連	地すべり危険箇所	▨
IC・JCT	候補箇所	○ IC ▽ JCT

注) IC: 「インターチェンジ」の略
 JCT: 「ジャンクション」の略
 ※トンネルで回避できる地すべり危険箇所は表示していない

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討【案2】

佐津～豊岡北～久美浜を結び、城崎市街にアクセスしやすいルート
 豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続



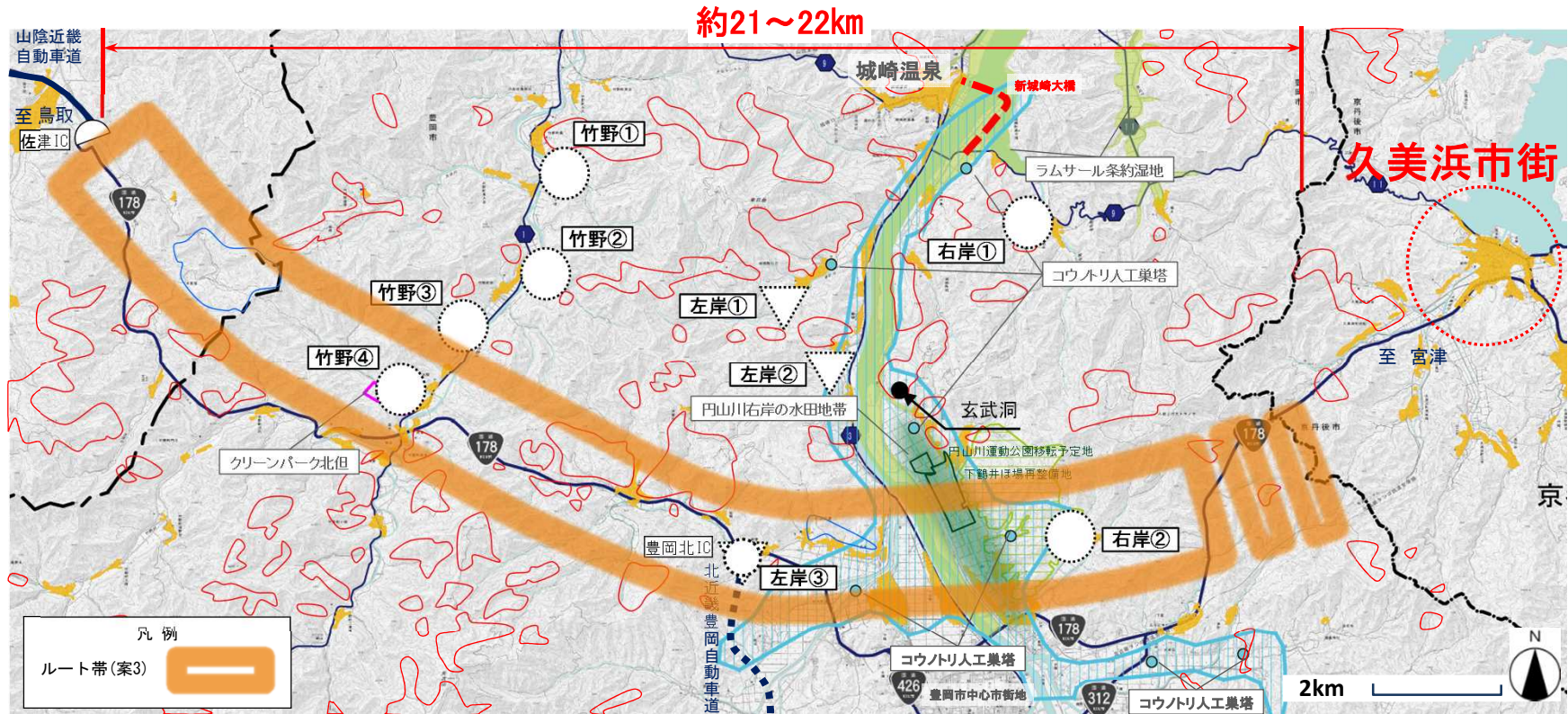
項目		凡例
自然環境	コウノトリ人工巣塔	●
	コウノトリ行動範囲	▨
	鳥獣保護区	▨
	ラムサール条約湿地	▨
	円山川右岸の水田地帯	▨

項目		凡例
生活環境	集落	▨
公共施設	クリーンパーク北但	▨
防災関連	地すべり危険箇所	▨
IC・JCT	候補箇所	○ IC ▽ JCT

注) IC: 「インターチェンジ」の略
 JCT: 「ジャンクション」の略
 ※トンネルで回避できる地すべり危険箇所は表示していない

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討 【案3】

佐津～豊岡北～久美浜を結ぶルート
 豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続



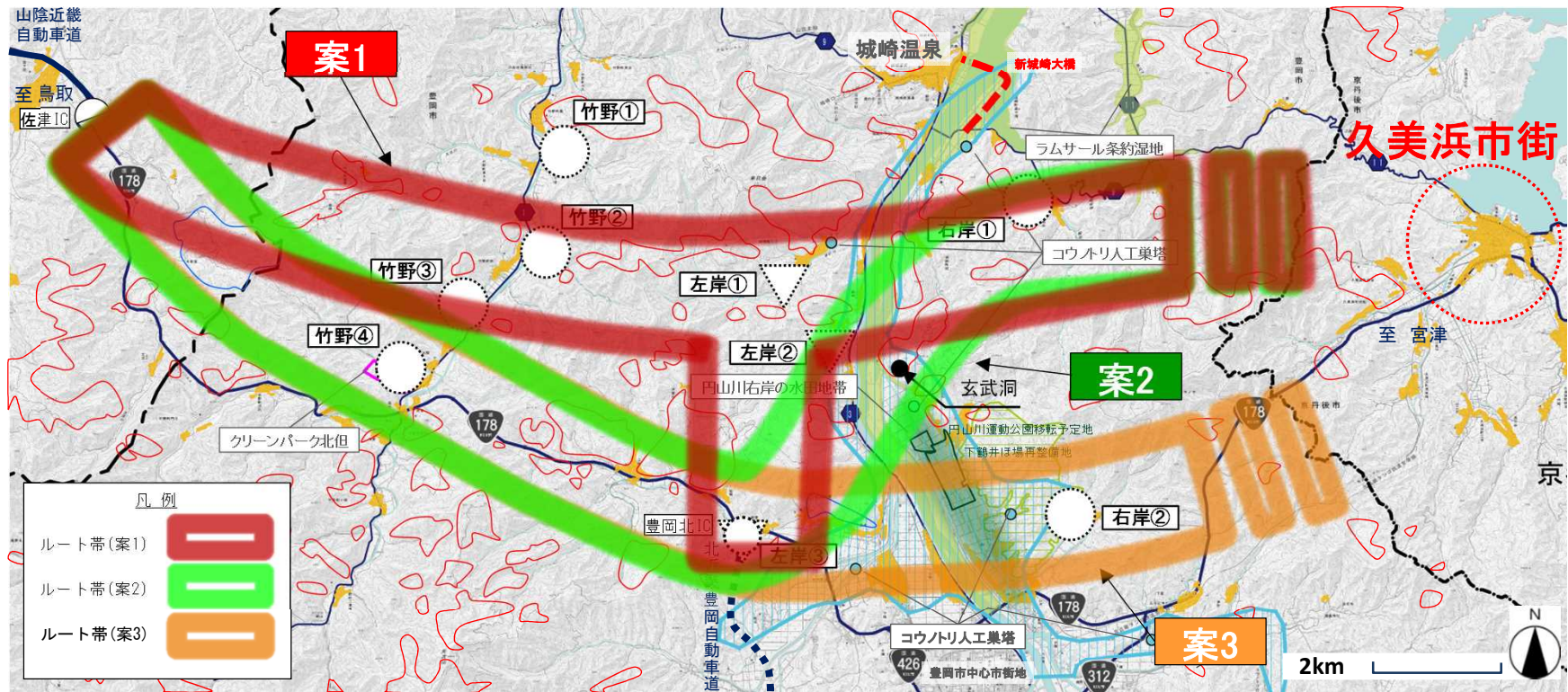
項目		凡例
自然環境	コウトリ人工巣塔	●
	コウトリ行動範囲	▨
	鳥獣保護区	▨
	ラムサール条約湿地	▨
	円山川右岸の水田地帯	▨

項目		凡例
生活環境	集落	▨
公共施設	クリーンパーク北但	▨
防災関連	地すべり危険箇所	▨
IC・JCT	候補箇所	○ IC ▽ JCT

注) IC: 「インターチェンジ」の略
 JCT: 「ジャンクション」の略
 ※トンネルで回避できる地すべり危険箇所は表示していない

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討 3案の比較

ルート帯3案を重ね合わせて比較



項目		凡例
自然環境	コウノトリ人工巣塔	●
	コウノトリ行動範囲	▨
	鳥獣保護区	▨
	ラムサール条約湿地	▨
	円山川右岸の水田地帯	▨

項目		凡例
生活環境	集落	▨
公共施設	クリーンパーク北但	▨
防災関連	地すべり危険箇所	▨
IC・JCT	候補箇所	○ IC ▽ JCT

注) IC: 「インターチェンジ」の略
 JCT: 「ジャンクション」の略
 ※トンネルで回避できる地すべり危険箇所は表示していない

4. 比較ルート帯案(複数案)の検討 ルート帯案の比較

案の名称		案1	案2	案3	
ルート帯の概要		日本海国土軸として、佐津～久美浜を直線的に結び、城崎市街にアクセスしやすいルート 豊岡北と城崎市街の中間位置で、南北と東西の自動車専用道路が接続	佐津～豊岡北～久美浜を結び、城崎市街にアクセスしやすいルート 豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続	佐津～豊岡北～久美浜を結ぶルート 豊岡北で北近畿豊岡自動車道と接続	
延長(km)		約22～23km	約22～23km	約21～22km	
政策目標 に対する評価	中心市街地の渋滞・事故の緩和	通過交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる	通過交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる	通過交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる	
	地域産業の活性化 (観光、漁業)	神戸方面から城崎温泉・竹野への立ち寄りやすさ	アクセスしやすい 神戸市内～城崎温泉：156分→148分(▲8分) 神戸市内～竹野海岸：154分→153分(▲1分)	アクセスしやすい 神戸市内～城崎温泉：156分→147分(▲9分) 神戸市内～竹野海岸：154分→152分(▲2分)	城崎温泉へのアクセスは現状と変わらない 神戸市内～城崎温泉：156分→156分(▲0分) 神戸市内～竹野海岸：154分→152分(▲2分)
		神戸方面から余部鉄橋・香住への立ち寄りやすさ	アクセスしやすい 神戸市内～余部鉄橋：164分→162分(▲2分)	アクセスしやすい 神戸市内～余部鉄橋：164分→160分(▲4分)	アクセスしやすい 神戸市内～余部鉄橋：164分→160分(▲4分)
		山陰海岸沿岸部の観光施設間の連携	連携しやすい 余部鉄橋～城崎温泉：47分→30分(▲17分)	連携しやすい 余部鉄橋～城崎温泉：47分→34分(▲13分)	連携はややしやすい 余部鉄橋～城崎温泉：47分→43分(▲4分)
		津居山港から大阪市場への水産物の輸送	所要時間が短縮する 津居山港～大阪中央卸売市場： 151分→144分(▲7分)	所要時間が短縮する 津居山港～大阪中央卸売市場： 151分→143分(▲8分)	所要時間は現状と変わらない 津居山港～大阪中央卸売市場： 151分→151分(▲0分)
		柴山港から大阪市場への水産物の輸送	所要時間が短縮する 柴山港～大阪中央卸売市場： 153分→151分(▲2分)	所要時間が短縮する 柴山港～大阪中央卸売市場： 153分→149分(▲4分)	所要時間が短縮する 柴山港～大阪中央卸売市場： 153分→149分(▲4分)
	救急医療サービスの向上	城崎・竹野～豊岡病院	城崎は所要時間が短縮する 竹野は所要時間が短縮する 城崎振興局→豊岡病院：24分→18分(▲6分) 竹野振興局→豊岡病院：21分→20分(▲1分)	城崎は所要時間が短縮する 竹野は所要時間が短縮する 城崎振興局→豊岡病院：24分→17分(▲7分) 竹野振興局→豊岡病院：21分→20分(▲1分)	城崎は所要時間が現状と変わらない 竹野は所要時間が短縮する 城崎振興局→豊岡病院：24分→24分(▲0分) 竹野振興局→豊岡病院：21分→20分(▲1分)
		香美方面～豊岡病院	所要時間が短縮する 香美町役場→豊岡病院：27分→25分(▲2分)	所要時間が短縮する 香美町役場→豊岡病院：27分→23分(▲4分)	所要時間が短縮する 香美町役場→豊岡病院：27分→23分(▲4分)
	災害に強い道路ネットワークの確保	地域防災拠点(城崎振興局・竹野振興局)との連携	アクセスしやすい 豊岡市城崎振興局～(仮)右岸IC：6分 豊岡市竹野振興局～(仮)竹野IC：8分	アクセスしやすい 豊岡市城崎振興局～(仮)右岸IC：6分 豊岡市竹野振興局～(仮)竹野IC：10分	城崎のアクセスは現状と変わらない 豊岡市城崎振興局～豊岡北IC：19分 豊岡市竹野振興局～(仮)竹野IC：10分
		通行止め時の影響(国道178号、豊岡瀬戸線)	国道178号の代替路として機能する 県道豊岡瀬戸線の代替路として機能する	国道178号の代替路として機能する 県道豊岡瀬戸線の代替路として機能する	国道178号の代替路として機能する 県道豊岡瀬戸線の代替路にはならない
配慮事項	自然環境・景観への配慮	コウノトリ行動範囲(戸島以南)を横断するため、影響がある コウノトリの餌場となるほど生物が多様な水田を回避できるため、影響は小さい	コウノトリ行動範囲(戸島以南)を横断するため、影響がある コウノトリの餌場となるほど生物が多様な水田を回避できるため、影響は小さい	コウノトリ行動範囲(戸島以南)を横断するため、影響がある コウノトリの餌場となるほど生物が多様な水田を通過するため、影響がある	
経済性への配慮(整備に関する費用)		約1,150～1,250億円	約1,200～1,300億円	約1,200～1,300億円	

5. 地域の意見聴取（第2回）方法

1. 意見聴取の基本方針

- ①比較ルート帯案に対する意見
- ②その他自由意見



2. 意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法		配布数
アンケート	【地域住民】豊岡市のうち、旧豊岡市、旧城崎町、旧竹野町及び香美町のうち香住区の住民に郵送配布・郵送回収	約24,700部
	豊岡市のうち、旧豊岡市(17,692世帯)	17,700部
	旧城崎町(1,342世帯)	1,400部
	旧竹野町(1,627世帯)	1,700部
	香美町のうち、香住区(3,882世帯)	3,900部
	【企業等】豊岡商工会議所、豊岡市商工会城崎支部・竹野支部、香美町商工会の加盟事業所に郵送配布・郵送回収	約2,200部
	豊岡商工会議所(1,000社)	1,000部
	豊岡市商工会城崎支部(300社)	300部
	豊岡市商工会竹野支部(200社)	200部
	香美町商工会(香美町内の700社)	700部
【道路利用者等】但馬地域の道の駅及び観光施設等に常設	約1,000部	
ヒアリング	【関係自治体及び団体等】関係自治体・関係団体・道路利用者等へ意見照会	
	自治体: 京都府、京丹後市、新温泉町	
	各団体: 警察署、消防署、豊岡病院、バス会社、トラック協会 等	
	道路利用者等: 道の駅・観光地等でヒアリング	

5. 地域の意見聴取(第2回)方法<意見聴取項目>

- ・ 政策目標を踏まえて、アンケート調査項目を設定。

現状	課題	第1回質問	政策目標	第2回意見聴取での質問
交通	豊岡市中心市街地において、渋滞・事故が発生	①快適に走行出来ない道路構造 ②豊岡市街地での交通集中 ③交通事故の発生	中心市街地の渋滞・事故の緩和	※すべてのルート帯案で目標を達成できるため意見聴取は行わない。
観光	観光地への速達性・定時性が課題	⑥高速道路ネットワークの整備遅れ	地域産業の活性化(観光・漁業)	①神戸・大阪方面から城崎温泉、余部鉄橋をはじめとする観光施設に立ち寄りやすいことが重要 ②山陰海岸沿岸部の観光施設(城崎温泉、余部鉄橋、竹野海岸、香住海岸等)間が連携しやすいことが重要 ③漁港から神戸・大阪の市場に水産物を早く輸送できることが重要
漁業	水産物の市場への輸送の速達性・定時性が課題			
救急医療	救急医療機関への速達性・安全性が課題	⑤公共施設や観光地への長い移動時間	救急医療サービスの向上	④救急病院(公立豊岡病院)へ早く到達できることが重要
防災	幹線道路が災害時に通行止めとなり、災害時の支援活動に支障	④災害時等の通行止めや通行規制による迂回	災害に強い道路ネットワークの確保	⑤災害時に地域防災拠点(城崎振興局・竹野振興局)に早く到達できることが重要 ⑥災害時の孤立を防ぐ道路ネットワークを構築することが重要
配慮事項	自然環境や景観への配慮	⑦貴重な動植物の保護	—	⑦コウノリの生息環境など自然環境への影響が小さいことが重要
その他	—	⑧その他	—	⑧整備費用が安いことを最優先とすることが重要 ⑨その他()

■具体的な質問

【質問1】

この地域(佐津～府県境)にとって、望ましいルート帯案を選ぶ際に重要だと思うことはなんですか。

下記①～⑧の項目について **5段階評価して下さい**。

なお、「中心市街地の渋滞・事故の緩和」については、全てのルート帯案で条件を満たしているため、質問から外しております。

- ①神戸・大阪方面から城崎温泉、余部鉄橋をはじめとする観光施設に立ち寄りやすいことが重要
- ②山陰海岸沿岸部の観光施設(城崎温泉、余部鉄橋、竹野海岸、香住海岸等)間が連携しやすいことが重要
- ③漁港から神戸・大阪の市場に水産物を早く輸送できることが重要
- ④救急病院(公立豊岡病院)へ早く到達できることが重要
- ⑤災害時に地域防災拠点(城崎振興局・竹野振興局)に早く到達できることが重要
- ⑥災害時の孤立を防ぐ道路ネットワークを構築することが重要
- ⑦コウノリの生息環境など自然環境への影響が小さいことが重要
- ⑧整備費用が安いことを最優先とすることが重要
- ⑨その他(自由回答:例えば各案に対しての配慮すべきことなど)

【質問2】

佐津～府県境間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

5. 地域の意見聴取(第2回)方法<意見聴取方法(案)>

■調査票(例)

◆配布用紙1

山陰近畿自動車道(佐津～府県境)の道路計画に関する第2回アンケートです。あなたのご意見をぜひお聞かせください!!

本アンケートは、山陰近畿自動車道(佐津～府県境)の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から、みなさまに広くご意見をお聴きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

山陰近畿自動車道(佐津～府県境)の道路計画に関する第2回アンケート調査は、右記の『道路計画の流れ』により行っています。調査結果は、集計・とりまとめ後、兵庫県のホームページ等に掲載する予定です。

今回の調査は、山陰近畿自動車道が兵庫県内で通過する豊岡市(旧豊岡市・旧城崎町・旧竹野町)、香美町(香住区)にお住まいの方々、事業所並びに道路利用者等を対象としています。調査結果は統計的に処理し、住所・氏名や個人の情報等は特定されません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

～アンケート記入にあたってのお願い～


- 1) アンケートご記入の際は、関連資料をお読みいただけますようお願いいたします。
- 2) アンケート調査票については、別紙の回答はがきを切り離してお送りください。
- 3) 平成29年●月●日までに、お近くの郵便ポストにご投函(切手不要)いただきますよう、お願いします。

<調査実施主体> (差出人・返信先・問い合わせ先)
兵庫県但馬県民局 豊岡土木事務所
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11
TEL: 0796-26-3738

山陰近畿自動車道の概要

山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市の鳥取ICから京都府宮津市の宮津大橋立ICに至る高速道路(自動車専用道路)です。

高取東部、但馬、京都北部の各地域内生活圏を連絡するとともに、日本海国土軸の一部として、広域的なネットワークを形成し、地域の交流・連携の促進と安全・安心の向上に寄与する重要な道路として位置づけています。



◆配布用紙2(表面)

山陰近畿自動車道(佐津～府県境)の道路計画に関する 第2回アンケート調査 [関連資料]

第1回アンケート調査では、地域住民の方々や事業者の方、道路を利用されている方などから1858件の回答をいただきました。またヒアリング調査として観光施設利用者、関係団体・自治体にご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。意見聴取結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

道路事情について

【問】佐津～府県境間の道路事情に関して、どのような課題があると思いますか。

【アンケート調査結果】

項目	件数	割合	割合(%)
急なカーブや坂、道幅が狭い区間があり、快適に走行できない	858	54.0	53.4
急な交差点が多く、安全に走行できない	221	38.1	32.4
急な交差点に十分な歩道や歩行者用の安全な空間が確保されていない	108	18.8	14.0
急な交差点、カーブ、直線などでの急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される	88	14.1	11.2
急な交差点ネットワークの整備が遅れている	172	24.7	21.2

全回答者の約8割以上が、①周辺や高速な主要な道路に、急なカーブや坂、道幅が狭い区間があり、快適に走行できない、②急な交差点が多く、安全に走行できない、③急な交差点に十分な歩道や歩行者用の安全な空間が確保されていない、④交差点、カーブ、直線などでの急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される、⑤高速道路ネットワークの整備が遅れている、と回答しています。

その他、①②③についても、7割以上が課題認識しています。

【自由意見】

- ・緊急救命率の向上に寄与する道路で早期整備が必要である。(住民)
- ・観光への観光は高速道路が必要だ。(住民)
- ・高速道路は観光地へ行くための観光の滞在客は多い、観光地をフル活用できれば、バス事業者だけでなく、地域のために良いと思ふ。(バス会社)
- ・京都・鳥取間を結ぶ無料区間道路が完成することで、但馬地と和歌山間の交流圏が増加し、地域の活性化に寄与できるものと思ふ。(自治体)

地域の課題について

【問】この地域の将来を見据えた改善すべき地域の課題に関して、どのような課題があると思いますか。

【アンケート調査結果】

項目	件数	割合	割合(%)
急な交差点や急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される	928	62.0	71.0
急な交差点ネットワークの整備が遅れている	759	61.3	73.8
急な交差点、カーブ、直線などでの急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される	888	50.9	75.1
急な交差点ネットワークの整備が遅れている	1038	48.4	81.9
急な交差点、カーブ、直線などでの急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される	362	56.7	60.0

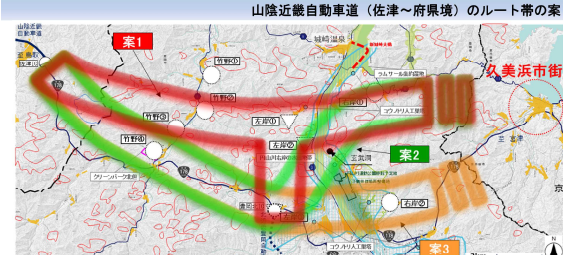
全回答者の約8割が、急な交差点や急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される、急な交差点ネットワークの整備が遅れている、急な交差点、カーブ、直線などでの急な速度の変化による運転の集中や疲労が懸念される、急な交差点ネットワークの整備が遅れている、と回答しています。

【自由意見】

- ・緊急救命率の向上に寄与する道路で早期整備が必要である。(住民)
- ・観光への観光は高速道路が必要だ。(住民)
- ・高速道路は観光地へ行くための観光の滞在客は多い、観光地をフル活用できれば、バス事業者だけでなく、地域のために良いと思ふ。(バス会社)
- ・京都・鳥取間を結ぶ無料区間道路が完成することで、但馬地と和歌山間の交流圏が増加し、地域の活性化に寄与できるものと思ふ。(自治体)

◆配布用紙2(裏面)

山陰近畿自動車道(佐津～府県境)のルート帯の案



【案1】(赤線) 【案2】(緑線) 【案3】(黄線)

項目	凡例
自然環境	コウノトリ人工島 〇
	コウノトリ行動圏 〇
	鳥居地区 〇
	ラムサール条約湿原 〇
	丹山川右岸の水田湿原 〇
生活環境	漁港 〇
	公共施設 クラウンパーク北館 〇
	防災関連 防災ペリ危険箇所 〇
	IC・JCT 接続箇所 〇

注) IC: (インターチェンジ)の略
JCT: (ジャンクション)の略
〇: 当該項目が重複する箇所は表示しない

案の名称	案1	案2	案3
ルート帯の概要	日本海側とすることで、佐津～久美川を直線的に結び、城崎方面にアクセスしやすいルート	佐津～久美川を直線的に結び、城崎方面にアクセスしやすいルート	佐津～久美川を直線的に結び、城崎方面にアクセスしやすいルート
延長(km)	約21～23km	約21～23km	約21～23km
中心市街地の連携・事故の緩和	濃尾交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる	濃尾交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる	濃尾交通が中心市街地を迂回できるため、中心市街地の渋滞・事故が緩和できる
地域連携の活性化(観光、漁業)	神戸方面から城崎温泉・竹野方面へのアクセスしやすい 神戸市内～城崎温泉 (A18) 神戸市内～竹野温泉 (A19)	アクセしやすい 神戸市内～城崎温泉 (A18) 神戸市内～竹野温泉 (A19)	城崎温泉へのアクセスが容易になる 神戸市内～城崎温泉 (A18) 神戸市内～竹野温泉 (A19)
長島側車道サービスの向上	城崎は所要時間が短縮される 城崎温泉からA18 竹野は所要時間が短縮される 竹野温泉からA19	城崎は所要時間が短縮される 城崎温泉からA18 竹野は所要時間が短縮される 竹野温泉からA19	城崎は所要時間が短縮される 城崎温泉からA18 竹野は所要時間が短縮される 竹野温泉からA19
災害に強い地域	城崎温泉～(仮) 長島側車道 (仮) 竹野温泉～(仮) 竹野温泉 〇	城崎温泉～(仮) 長島側車道 (仮) 竹野温泉～(仮) 竹野温泉 〇	城崎温泉～(仮) 長島側車道 (仮) 竹野温泉～(仮) 竹野温泉 〇
観光への配慮(景観に関する費用)	約1,190～1,250億円	約1,200～1,300億円	約1,200～1,300億円

